

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第54集

市内遺跡発掘調査報告書1995

1997. 3

佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第54集

市内遺跡発掘調査報告書1995

1997. 3

佐久市教育委員会

例 言

1 本書は、1995年度（平成7年度）において個人住宅、民間開発及び公共開発に係る試掘調査並びに立ち会い調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2 事務局の構成

1996年度（平成8年度）

◎発掘調査受託者 教育長 依田 英夫

事務局

	教 育 次 長	市川 源
埋蔵文化財課	課 長	北沢 元平
	管 理 係 長	棚沢 慶子
	管 理 係	田村 和広
	埋蔵文化財係長	大塚 達夫
	埋蔵文化財係	林 幸彦、三石 宗一、須藤 隆司、小林 眞寿、 羽毛田卓也、富沢 一明、上原 学
	調 査 主 任	佐々木宗昭、森泉かよ子

3 各遺跡の執筆は発掘調査担当者が行い、編集は須藤が行った。

4 本書掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1	道添遺跡 2	(1)	35	枇杷坂遺跡群 7	(46)
2	栗毛収遺跡群 14	(2)	36	根々井跡 2	(48)
3	狐塚遺跡 2	(3)	37	近津遺跡群 1	(50)
4	辻遺跡 3 (隣接)	(4)	38	岩村田遺跡群 13	(51)
5	枇杷坂遺跡群 3	(7)	39	跡坂遺跡群 3	(52)
6	寺畑遺跡群 6	(8)	40	常田厩屋敷遺跡群 5	(53)
7	大中沢遺跡 1 (隣接)	(9)	41	錦陣屋遺跡群 2	(55)
8	榛名平遺跡群	(10)	42	白拍子遺跡群 3 (隣接)	(56)
9	跡坂遺跡群 2	(11)	43	長土呂遺跡群 3	(57)
10	前浜遺跡 1 (隣接)	(12)	44	枇杷坂遺跡群 8	(59)
11	高師町遺跡 II	(13)	45	打越遺跡 1	(60)
12	枇杷坂遺跡群 4	(15)	46	東五里田遺跡 2 (隣接)	(61)
13	寺畑遺跡群仲田遺跡	(17)	47	社宮司遺跡 1 (隣接)	(62)
14	長明塚 3・東五里田遺跡 1 (隣接)	(19)	48	洞塚遺跡 1	(63)
15	上の城遺跡群 6	(21)	49	蛇塚 B 遺跡 1	(64)
16	枇杷坂遺跡群 5	(24)	50	辻遺跡 4 (隣接)	(65)
17	枇杷坂遺跡群 6	(25)	51	栗毛坂遺跡群 16	(67)
18	岩村田遺跡群 12	(26)	52	中久保田遺跡 3	(69)
19	栗毛坂遺跡群 15	(27)	53	中塚遺跡群 8	(71)
20	和田遺跡 1	(28)	54	枇杷坂遺跡群 9	(72)
21	富の上遺跡群 3 (隣接)	(29)	55	藤塚遺跡 1	(73)
22	芝宮遺跡群上芝宮遺跡 V	(30)	56	前田遺跡群蛸子石遺跡	(74)
23	中原遺跡群 6	(32)	57	久彌浜遺跡 1 (隣接)	(75)
24	中原遺跡群 7	(33)	58	中塚遺跡群 9	(76)
25	西面遺跡群 1	(34)	59	栗毛坂遺跡群 17	(77)
26	新町遺跡 3	(36)	60	芝宮遺跡群 9	(78)
27	金山遺跡 1 (隣接)	(37)	61	西大久保遺跡 3	(79)
28	上の平遺跡群 1	(39)	62	東大久保遺跡 1	(80)
29	西赤塚遺跡 9 (隣接)	(40)	63	本郷上北側遺跡 1 (隣接)	(81)
30	蛇塚古墳	(41)	64	香取前遺跡群 9	(82)
31	横石遺跡 2	(42)	65	岩弁堂遺跡 2	(83)
32	一本柳遺跡群 7	(43)	66	中久保田遺跡 4	(84)
33	下町屋遺跡 1 (隣接)	(44)	67	竹原遺跡 1	(85)
34	中久保田遺跡 2	(45)	68	常田厩屋敷遺跡群 6	(86)
付表	1995年度市内遺跡発掘調査一覧表	(88)			
付図	1995年度市内遺跡発掘調査位置図	(89)			

試掘調査

1 道添遺跡 2

所在地 佐久市大字塚原字道添2355他

開発主体者 有限会社 新日本開発

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年4月3日

面積 807㎡

調査担当者 上原 学



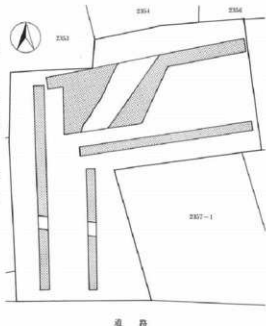
道添遺跡 2 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

道添遺跡は佐久市大字塚原に所在し、浅間山麓末端の標高673m付近の台地上に位置する。

遺跡群北側には宮の前遺跡・塚添遺跡、西には狐塚遺跡が所在し、ここには狐塚古墳を認めることができる。

今回、有限会社新日本開発による宅地造成事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。



道添遺跡 2 調査全体図 (1 : 1,000)



調査区近景 (東から)

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチ 2 本、南北方向のトレンチ 2 本を設定し遺構の確認を行った。その結果、北側に設定した東西方向のトレンチ中央付近から溝跡、南北方向に設定した 2 本のトレンチ中央から、東西方向に走る溝跡を確認した。遺物は北側の溝跡から弥生式土器数点が出土した。

試掘調査

2 栗毛坂遺跡群14

所在地 佐久市大字岩村田字西曾根61-3

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 道路改良

調査期間 平成7年4月26日

面積 61.8㎡

調査担当者 林 幸彦



栗毛坂遺跡群14位置図（1：10,000）

立地と経過

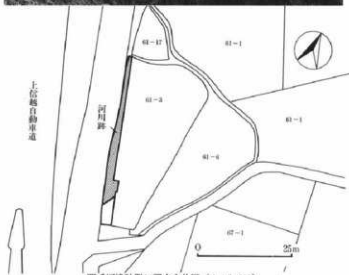
本調査地点は、栗毛坂遺跡群の北西端にあり、浅間第一軽石流に覆われた「田切り地形」の台地上にのっている。

本調査地点の東に隣接する栗毛坂遺跡群西曾根遺跡は、1989年に雇用促進住宅建設に伴い発掘調査され、8世紀前半の竪穴住居址2軒、掘立柱建物址17棟等が検出されている。

今回、佐久市新幹線高速道課が市道改良を実施することになり試掘調査を行った。

調査の結果

北西から南東に流れる河川跡がみられたのみで、遺構・遺物の検出はなかった。



栗毛坂遺跡群14調査全体図（1：1,000）

試掘調査

3 狐塚遺跡 2

所在地 佐久市大字塚原字寺脇1895-1 他

開発主体者 医療法人 恵仁会

開発事業名 老人保健施設建設

調査期間 平成7年5月2日

面積 3,165㎡

調査担当者 林 幸彦



狐塚遺跡 2 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

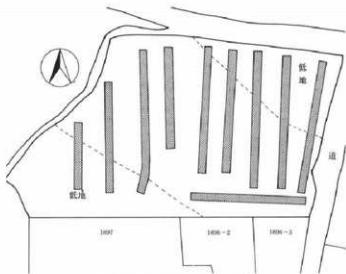
狐塚遺跡は、佐久市の北西部に位置し標高670mを測り、遺跡の南端部には狐塚古墳が所在する。本遺跡内では、平成6年2月に個人住宅建設の際試掘調査を実施しているが、遺構は検出されていない。今回、医療法人恵仁会が老人保険施設建設を計画したので試掘調査を実施した。



調査の結果

南北に9本、東西に1本のトレンチを設定し、遺構の検出を行った。表土下80cmの浅間第一軽石流に至るまで近世以降の水田が3面確認された。土師器片2点が出土した。

試掘調査後埋め戻しをし、工事が着工された。



狐塚遺跡 2 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

4 辻遺跡3 (隣接)

所在地 佐久市大字野沢字仮田坂下480-6他

開発主体者 株式会社 セキチュー

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成7年5月11～15・18日

面積 2,746㎡

調査担当者 林 幸彦



辻遺跡3 (隣接) 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

辻遺跡は、千曲川左岸と片貝川に挟まれた帯状微高地上にあり、南には畠田遺跡が、北には三東遺跡群が分布している。1960年代の野沢平面場整備に関わる発掘調査で、いつれの遺跡からも古墳時代から平安時代の集落が検出されている。また、1993年にコンビニエンスストア・セイブオン店舗建設の際に行われた試掘調査でも古墳時代・奈良時代の堅穴住居址が4棟発見されている。さらに、1994年に県職員宿舍建築時に実施した三塚の三東遺跡群三東遺跡からは、古墳時代から平安時代の堅穴住居址が30数棟検出されている。この両遺跡の調査によって、圃場整備が行われた当時水田のため未周知であった新たな遺跡が埋蔵されていることが判明した。しかも、地点によっては、圃場整備前の地形に高低差はみられるものの、遺構の遺存状態が良好であることも確認されている。今回、株式会社セキチューにより「セキチューオートセンター ウエイ佐久」店舗建設が計画されたため試掘調査を実施することになった。

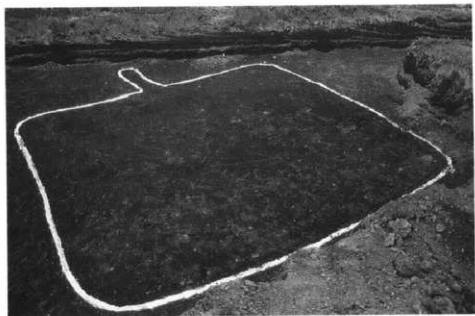
調査の結果

東西方向に9本のトレンチを設定し、遺構の検出を行った。遺構と思われる落ち込みがみられたトレンチは、その性格を把握するためその周辺を拡張した。

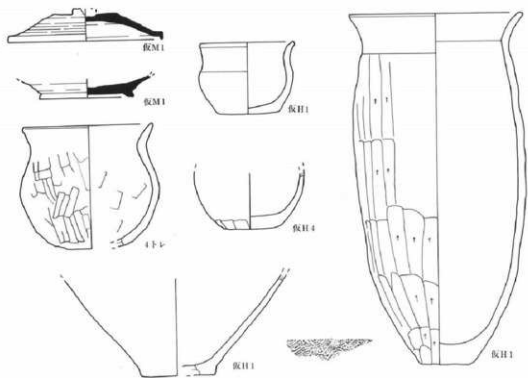
対象地のほぼ中央に北東にのびる黒色の低地がみられ、その両側の微高地から遺構が検出された。微高地の両側とも砂層と礫層が遺構確認面である。西側は圃場整備前の地形が高かったのであろう削平が激しく大部分が攪乱されている。

佐久平幹線用水路寄りの東側からは古墳時代後期の堅穴住居址が3棟、西側からは古墳時代の堅穴住居址1棟と2棟分の組み合わせが考えられる掘立柱建物址と思われる柱穴がそれぞれ検出された。遺物は、古墳時代後期の土師器長胴甕形土器、小形甕形土器が堅穴住居址から出土し、低湿地の遺物包含層からは野沢平では極希にみられる弥生時代後期の甕形土器も検出された。

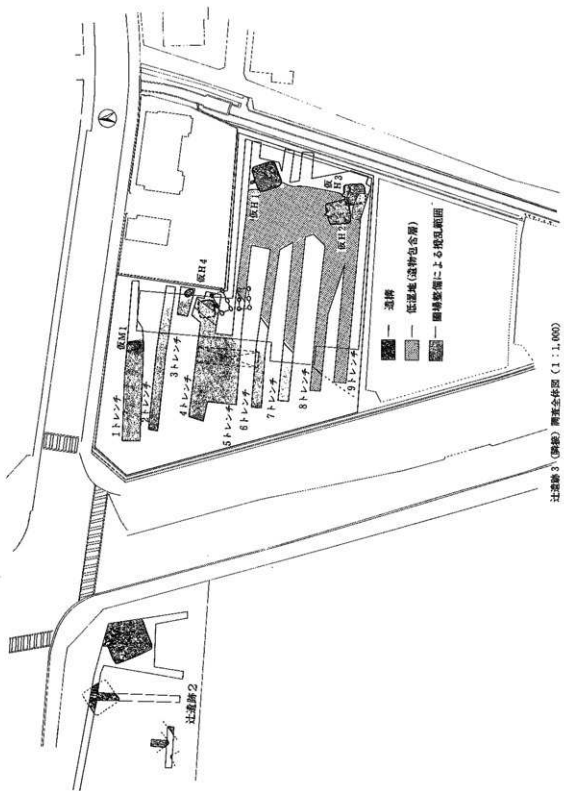
西側の攪乱が激しい部分からも土師器甕形土器等が多く出土した。



假H1号住居址檢出状況



出土遺物(1:4)



仕掛3 (発掘) 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

5 枇杷坂遺跡群 3

所在地 佐久市大字岩村田字上穴虫80-1

開発主体者 上原 正徳

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成7年5月16日

面積 1,007.25㎡

調査担当者 林 幸彦



枇杷坂遺跡群 3 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

枇杷坂遺跡群は、佐久市の北部に展開する「田切り地形」の台地上にある。岩村田北部区画整理工事等に起因する発掘調査で、古墳時代、奈良・平安時代の集落が枇杷坂遺跡群内の上久保田向遺跡で検出されている。

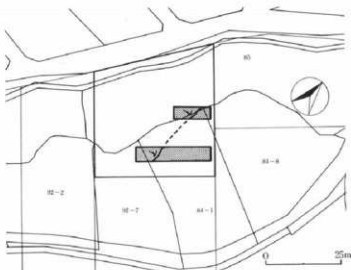
今回、上原正徳氏が共同住宅建築を計画したので、試掘調査を実施した。



調査の結果

対象地の西側半分は、埋め立てられているため東側に2本のトレンチを入れ精査した。

土師器が2片出土したが、遺構は検出されなかった。



枇杷坂遺跡群 3 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

6 寺畑遺跡群 6

所在地 佐久市大字根々井字塚田402-1他

開発主体者 有限会社 上原開発

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年5月19日

面積 1,351.84㎡

調査担当者 上原 学



寺畑遺跡群6位置図 (1:10,000)

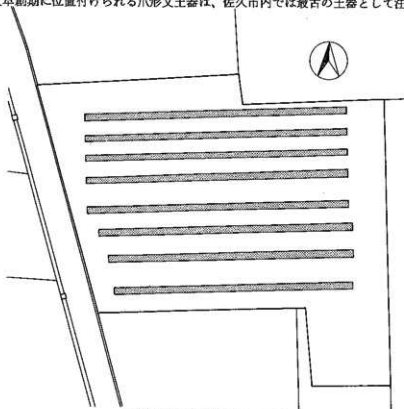
立地と経過

寺畑遺跡群は佐久市大字根々井に所在し、北方向に蛇行しながら流れる湯川によって形成された河岸段丘面上に位置する。遺跡群内では、平成6年度に佐久市都市開発部都市計画課による道路整備に伴い、約1,500㎡の発掘調査が行われ、縄文時代から中世にいたる遺構・遺物が確認されている。中でも縄文草創期に位置付けられる爪形文土器は、佐久市内では最古の土器として注目されている。

今回、有限会社上原開発による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを8本設定し遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。



寺畑遺跡群6調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

7 大中沢遺跡1 (隣接)

所在地 佐久市大字大沢字水沼324-3他

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成7年5月22日

平成8年2月16日

面積 3,141.6㎡

調査担当者 三石 宗一



大中沢遺跡1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

立地と経過

大中沢遺跡は佐久市の南端部、臼田町との境界付近に位置し、標高は695m付近を測る。

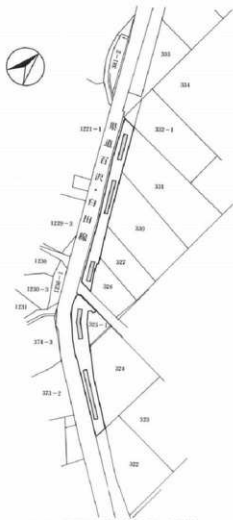
今回、佐久建設事務所による県道百沢・臼田線の改良工事が計画されたため、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

今回は、拡幅工事の行われる全長336mの内、平成7年度施工分の約60mについて平成7年5月22日に、さらに北側の約70mについて平成8年2月16日に試掘調査を行った。調査は、対象地内に5本のトレンチを設定し、重機によって掘り下げを行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



大中沢遺跡1 (隣接) 調査地点近景 (南方から)



大中沢遺跡1 (隣接) 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

8 榛名平遺跡群

所在地 佐久市大字根岸字榛名平3256他

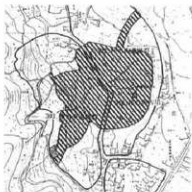
開発主体者 佐久市（都市計画課）

開発事業名 公園造成

調査期間 平成7年6月8・9日

面積 12,600㎡

調査担当者 富沢 一明



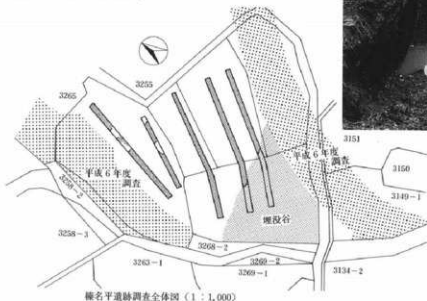
榛名平遺跡群位置図（1：10,000）

立地と経過

榛名平遺跡は、宮川・中沢川を見下ろす標高700m前後の丘陵上に位置する。平成5年度より厚生年金保険福祉施設「サンピア佐久」建設にあたり、当遺跡及び坪の内古墳・坪の内遺跡が調査され、中世館跡を中心とする縄文時代前期から中世に及ぶ遺構・遺物が検出されている。今回、施設に隣接して「薬草公園」を建設することとなり試掘調査を実施した。

調査の結果

開発対象地に5本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、平安時代の堅穴住居址4軒が検出され、発掘調査を実施する運びとなった。



榛名平遺跡調査全体図（1：1,000）

試掘調査

9 跡坂遺跡群 2

所在地 佐久市大字横根字跡坂857-1

開発主体者 有限会社 ツツミ地研

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年6月12日

面積 1,355.82㎡

調査担当者 林 幸彦



跡坂遺跡群2位置図 (1:10,000)

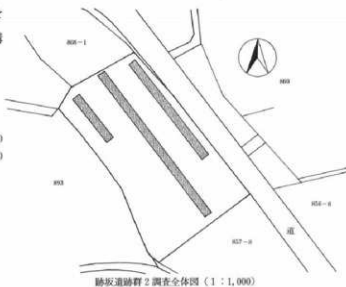
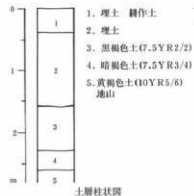
立地と経過

本調査地点は、跡坂遺跡群の北東端にあり、湯川に臨む台地上にある。本調査地点の南側に近接してからむし古墳が存在する。今回、有限会社ツツミ地研が宅地造成することになり試掘調査を行った。



調査の結果

ほぼ全面に1~2mの埋め土がされていた。2m幅のトレンチを南北に3本入れ、精査した。遺構・遺物の検出はなかった。



跡坂遺跡群2調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

10 前堀遺跡1 (隣接)

所在地 佐久市大字高柳字出口2741-1 他
開発主体者 有限会社 山田屋
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成7年6月14日
面積 2,994.26㎡
調査担当者 羽毛田卓也



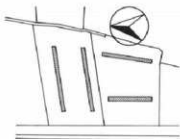
前堀遺跡1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

立地と経過

前堀遺跡は、千曲川西側の自然堤防上に展開する古墳時代遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡東側の隣接地で標高690mに位置する。今回有限会社山田屋が宅地造成をすることとなったため試掘調査を実施した。

調査の結果

4本のトレンチを掘削した結果、遺構造物ともに検出されなかった。現状は水田で耕作土は25cm前後の厚みであった。一部現在の水田より古い水田が確認されたが、出土遺物より近現代と考えられる。耕作土の下は砂礫層であった。



前堀遺跡1 (隣接) トレンチ設定図



前堀遺跡1 (隣接) トレンチ掘削状況 (南より)

試掘調査

11 高師町遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字新子田字高師町1387-4
開発主体者 佐久市農業協同組合
開発事業名 多目的ホール及び葬祭センター建設
調査期間 平成7年6月14日～8月31日
面積 9,097.35㎡
調査担当者 林 幸彦



高師町遺跡Ⅱ位置図（1：10,000）

立地と経過

高師町遺跡群は、浅間第一壑石流に覆われた南北に長く伸びる「田切り地形」の台地上にのり、東西は断崖となっている。

本調査地点の西側市道改良工事の際に調査された高師町遺跡Ⅰの土坑から「七」、「井」などの墨書土器が出土している。

今回、JA佐久市が開発を計画したので試掘調査を行った。

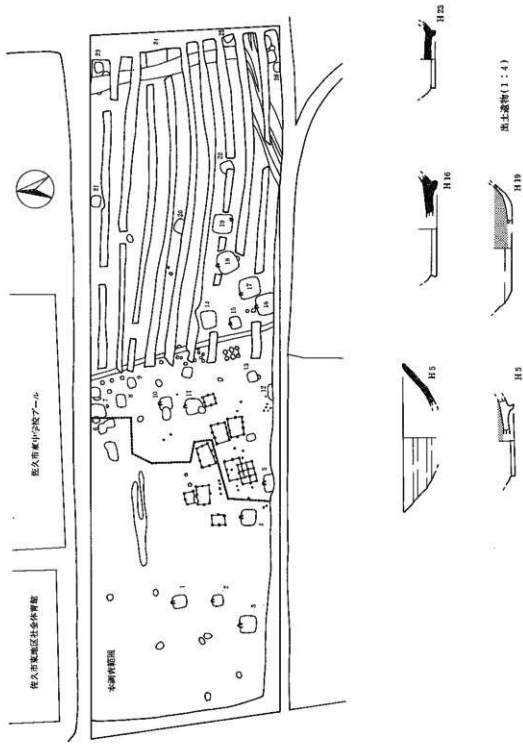


調査の結果

全体に表土は浅く、西側で20～30cm、中央から東にかけては40cmであった。遺構は中央にみられた緩斜面に沿って集中していた。奈良・平安時代の竪穴住居址20軒・掘立柱建物址11棟、奈良・平安時代・中世の土坑46基、溝6、ピット多数が検出された。協議の結果、建物が構築される中央より西側部分について記録保存調査となった。



高師町遺跡Ⅱ遺構検出状況



試掘調査

12 枇杷坂遺跡群 4

所在地 佐久市大字岩村田字上木戸963-1
開発主体者 学校法人 佐久学園
開発事業名 テニスコート・駐車場造成
調査期間 平成7年6月17・18日、7月14・15日
面積 1,634㎡
調査担当者 林 幸彦



枇杷坂遺跡群 4 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

本調査地点は、標高717mを測り、浅間第一軽石流に覆われた「田切り地形」の末端、微高地上になっている。今回、学校法人佐久学園がテニスコート・駐車場を造成することになり試掘調査を行った。

調査の結果

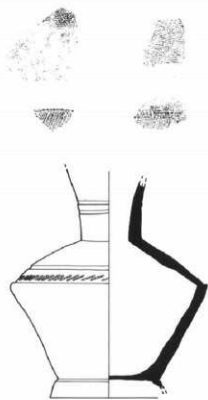
南北5本のトレンチを入れ精査したところ、弥生時代後期とみられる堅穴住居址1軒を検出した。遺物は住居址から弥生土器数点とトレンチより須恵器長頸壺が出土した。30cmの盛り土がされ工事が実施された。



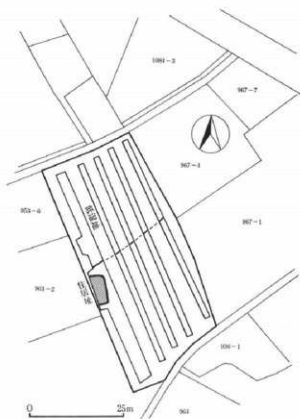
枇杷坂遺跡群 4 調査トレンチ



在居址出土状况



出土遗物 (1:4)



批把板道跡群4調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

13 寺畑遺跡群仲田遺跡

所在地 佐久市大字猿久保字仲田538他

開発主体者 佐久市（土木課）

開発事業名 道路建設

調査期間 平成7年6月19～21日

面積 2,200㎡

調査担当者 上原 学



仲田遺跡位置図（1：10,000）

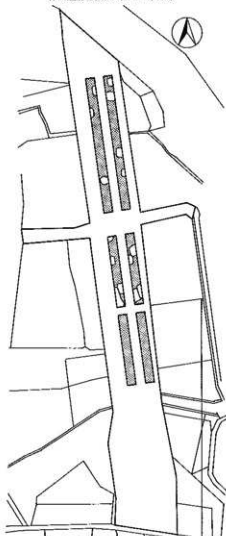
立地と経過

寺畑遺跡は佐久市大字猿久保に所在し、湯川の左岸に形成された河岸段丘上に位置する。標高は688m内外を測る。付近では平成6年度佐久市都市計画課による道路整備事業に伴い、今回の調査区の南側に隣接する1,500㎡の調査が行われ、縄文時代から中世にいたる遺構・遺物が確認されている。特に縄文時代草創期に位置付けられる爪形文土器は、県内においてもその出土例が少なく好資料である。

今回、佐久市建設部土木課による道路整備が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを4本設定し、遺構の確認を行った。その結果古墳時代から平安時代の住居跡を15棟確認した。



仲田遺跡調査全体図（1：1,000）



調査区遠景（北から）



調査区遠景（南から）

試掘調査

14 長明塚3・東五里田遺跡1 (隣接)

所在地 佐久市大字野沢字練田井333-1他

開発主体者 西田 建省

開発事業名 軽費老人ホーム建設

調査期間 平成7年6月21-26日

面積 7,116㎡

調査担当者 三石 宗一



長明塚3・東五里田遺跡1(隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

本遺跡は野沢平のほぼ中央に位置し、標高は2672m内外を測る。この地域は千曲川と片貝川とに挟まれた帯状の微高地が形成されており、この微高地上に多くの遺跡が存在している。長明塚遺跡では今までに二度の試掘調査が行われ、弥生時代後期の土器とともに、溝状遺構1条が検出されている。また、西側の薮沢遺跡では、奈良時代から平安時代の堅穴住居址7棟等が調査されている。

今回、西田建省氏によりケアハウス（軽費老人ホーム）の建設が計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地内に南北15本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。調査の結果、土坑状の落ち込み5基、溝状遺構4条が検出されたが、遺構の確認された箇所は建物部分から外れ、遺構は破壊されないため、埋め戻した後工事が行われた。



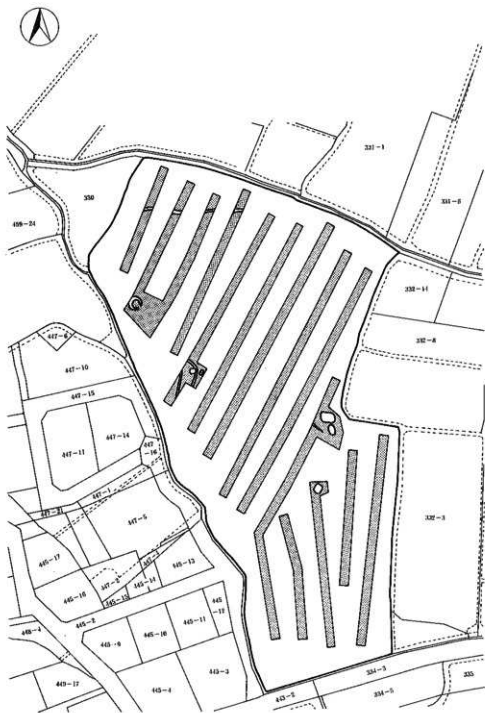
調査地点近景 (西方から)



調査地点近景 (南方から)



調査地点近景 (北方から)



長明塚 3・東五里田遺跡 1 (隣接) 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

15 上の城遺跡群 6

所在地 佐久市大字岩村田字観音堂2119-1他

開発主体者 株式会社 フジマート

開発事業名 店舗新築

調査期間 平成7年7月10～17日

面積 10,145㎡

調査担当者 三石 宗一



上の城遺跡群6群位置図 (1:10,000)

立地と経過

本遺跡群は湯川右岸の台地上に位置し、標高は概ね700mを測る。1973年（昭和48年）度に上の城遺跡、1983年（昭和58年）度に西八日町遺跡の発掘調査が実施され、弥生時代中期から平安時代の大規模な集落址が確認されている。また、西側に隣接して弥生時代中期から平安時代の大遺跡である一本柳遺跡群が展開しており、現在JR小海線によって東西に画されるが、地形的には本遺跡群と連続するものである。

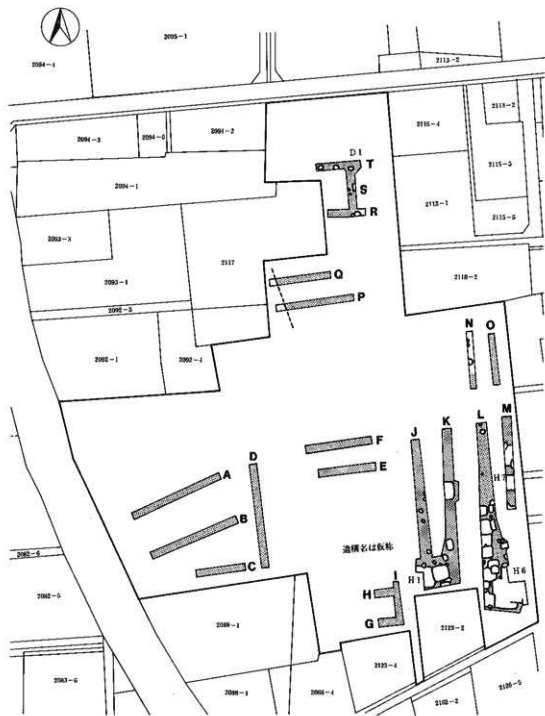
今回、株式会社フジマートによる店舗建設が計画されたため、遺構の状況を把握するため試掘調査を実施した。

調査の結果

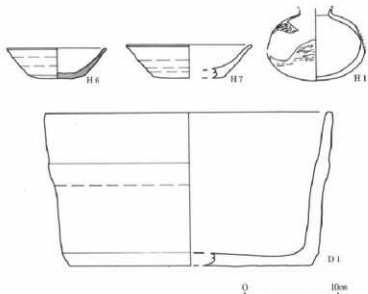
調査対象地内に、A～Tの20本のトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。今回行った試掘調査は、果樹・作物等による制約があり、全面にわたっての調査は行えなかったものの、ある程度の遺構の分布状況を把握することができた。調査区西側のA～Iトレンチでは遺構は検出されなかったのに対し、東側のJ～mトレンチでは竪穴住居址、竪穴遺構、土坑等が多数検出された。また、北側のP・Qトレンチ西端から溝状遺構、R～Tトレンチから土坑・ピットが検出された。Tトレンチ内より検出されたD1（仮称）からは、土鍋が出土していることから中世の遺構の存在が予想される。

今回の試掘調査で検出された遺構は、竪穴住居址・竪穴遺構15棟以上の他、土坑、溝状遺構・ピット等であり、特に調査区南東部分に集中して認められる。

現在、保護協議を継続中である。



上の城遺跡群6調査全体図(1:1,000)



上の城遺跡群 6 出土土器実測図 (1 : 4)



J トレンチ遺構検出状況 (北方から)



J トレンチ遺構検出状況 (南方から)



L トレンチ遺構検出状況 (南方から)



L トレンチ遺構検出状況 (南方から)

試掘調査

16 枇杷坂遺跡群 5

所在地 佐久市大字岩村田25街区2

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 事務所建設

調査期間 平成7年7月18日

面積 291㎡

調査担当者 林 幸彦



枇杷坂遺跡群5位置図(1:10,000)

立地と経過

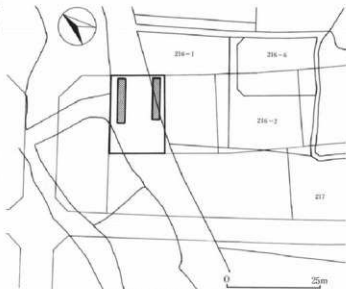
本調査地点は、枇杷坂遺跡群の北西端にあり、浅間第一軽石流に覆われた「田切り地形」の台地上にのっている。本調査地点の北及び東に隣接する枇杷坂遺跡群上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴからは、平安時代の集落が検出されている。



今回、株式会社平和不動産が事務所を建設することになり試掘調査を行った。

調査の結果

対象地の大半を旧市道が占めていて、区画整理事業の際140cm程盛り土されている。遺構・遺物の検出はなかった。



枇杷坂遺跡群5位置図(1:10,000)

試掘調査

17 枇杷坂遺跡群 6

所在地 佐久市大字岩村田字枇杷坂1027-1

開発主体者 サカイ創建株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年7月19～21日

面積 1,231㎡

調査担当者 林 幸彦



枇杷坂遺跡群5調査全体図(1:1,000)

立地と経過

本調査地点は、標高722mを測り、浅間第一壱石流に覆われた「田切り地形」の末端、微高地上にのっている。

今回、サカイ創建株式会社が宅地造成することになり試掘調査を行った。



住居址検出状況

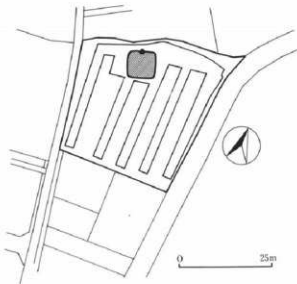
調査の結果

南北5本東西1本のトレンチを入れ精査したところ、古墳時代後期の竪穴住居址1軒を検出した。遺物は土師器が数点出土した。

遺構構築面は地表下50cmにあり、30cmの盛り土がされる。浄化槽の位置を遺構からずらし工事が実施された。



出土遺物(1:4)



枇杷坂遺跡群6調査全体図(1:1,000)

試掘調査

18 岩村田遺跡群12

所在地 佐久市大字岩村田字外西浦1144-1

開発主体者 有限会社 サンコー地所

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年7月26日・8月12日

面積 1,153.03㎡

調査担当者 林 幸彦



岩村田遺跡群12位置図 (1:10,000)

立地と経過

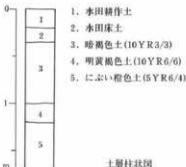
本調査地点は、岩村田遺跡群の中央西端にあり、浅間第一軽石流に覆われた「田切り地形」の末端、微高地上にのっている。

今回、有限会社サンコー地所が宅地造成することとなり試掘調査を行った。



調査の結果

現水田面から100cm下に地山である浅間第一軽石流がある。東西3本のトレンチいずれも水位が高い。遺構・遺物の検出はなかった。



岩村田遺跡群12調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

19 栗毛坂遺跡群15

所在地 佐久市大字岩村田字東赤座3753-1

開発主体者 大塚 寛

開発事業名 共同住宅建築

調査期間 平成7年7月26～28日

8月25日・10月5日

面積 1,245.2㎡

調査担当者 林 幸彦



栗毛坂遺跡群15位置図 (1:10,000)

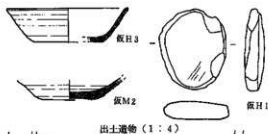
立地と経過

栗毛坂遺跡群は、湯川の右岸にある低位段丘上から浅間第一軽石流に覆われる高位の台地上に展開している。上信越自動車道、佐久長聖中、市道改良、雇用促進住宅等の発掘調査で縄文時代前期、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代の多くの遺構・遺物が検出されている。

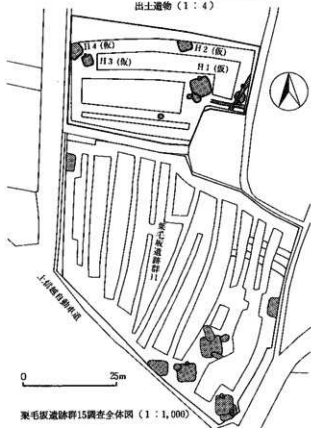
今回、大塚寛氏が共同住宅を建設することになり試掘調査を行った。また、南に接している栗毛坂遺跡群11では、平安時代の住居址7軒等が確認されている。

調査の結果

東西4本南北2本のトレンチを精査した。竪穴住居址4軒、土坑5基、溝2本を検出した。遺物は、平安時代の須恵器・土師器が出土した。



出土遺物 (1:4)



栗毛坂遺跡群15調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

20 和田遺跡1

所在地 佐久市大字瀬戸字和田545-1

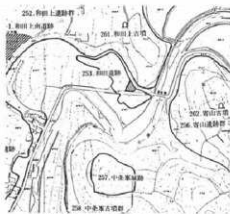
開発主体者 株式会社 アサマハウジング

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年8月5日～9月1日

面積 429㎡

調査担当者 林 幸彦



和田遺跡1位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

本調査地点は標高686mを測り、志賀川右岸にある。志賀川との比高はわずか7～8mの低位段丘上である。

今回、株式会社アサマハウジングが宅地を造成することになり試掘調査を行った。



調査の結果

南北2本東西1本のトレンチを入れ精査したところ、縄文時代中期後半とみられる竪穴住居址1軒を検出した。鉄平石の状況から敷石住居址とみられる。遺物は住居址確認面から縄文土器数十片と石器が出土した。

対象地は全体が傾斜しており、遺構が削平されるため翌年度に記録保存調査を実施することになった。



和田遺跡1調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

21 宮の上遺跡群3 (隣接)

所在地 佐久市大字横和字萩原26・27

開発主体者 株式会社 ツーカーセラー東京

開発事業名 第一種電気通信事業用施設設置

調査期間 平成7年8月6日

面積 264㎡

調査担当者 林 幸彦



宮の上遺跡群3 (隣接) 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

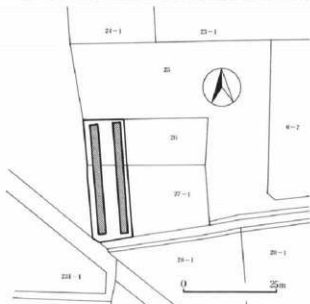
宮の上遺跡群は、湯川の左岸台地上にあって標高680m内外を測る。湯川との比高は15mを測る。県道小諸・中込線の道路改良工事に伴い、宮の上遺跡群宮の上遺跡Ⅰ・Ⅱが発掘調査され、平安時代の竪穴住居址5軒などが検出されている。

今回、株式会社ツーカーセラー東京がアンテナを設置することになり試掘調査を行った。



調査の結果

東西2本のトレンチを精査したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



宮の上遺跡群3 (隣接) 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

22 芝宮遺跡群上芝宮遺跡 V

所在地 佐久市大字長土呂字上芝宮778-2 他

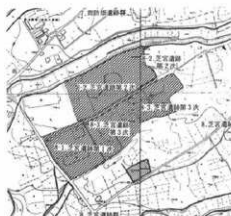
開発主体者 クロスロード開発株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年8月8～11・25日

面積 1,678㎡

調査担当者 林 幸彦



上芝宮遺跡 V 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

芝宮遺跡群は、佐久市の北部に展開する「田切り地形」の台地上にある。国道141号バイパス、宅地造成、市道改良工事等に起因する発掘調査で、古墳時代、奈良・平安時代の集落が検出されている。今回、クロスロード開発株式会社が宅地造成を計画したので、試掘調査を実施した。

調査の結果

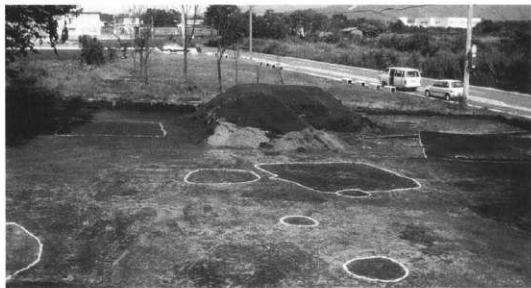
表土層を除去し精査したところ、古墳時代後期、奈良・平安時代の住居址9軒、掘立柱建物址2棟、溝、土坑が検出された。保護協議の結果、道路新設部分の記録保存調査を実施することとなった。



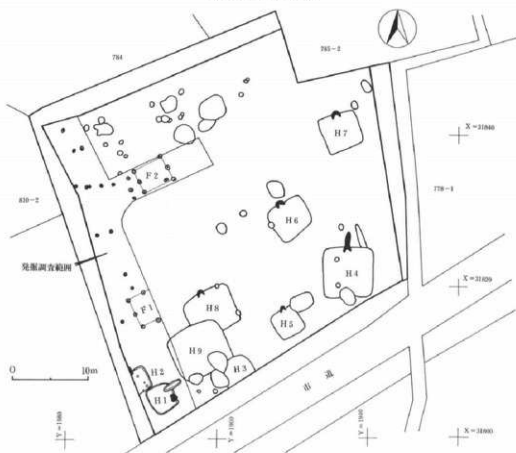
出土遺物 (1 : 4)



遺構検出状況



上芝宮遺跡V遺構検出状況



上芝宮遺跡V調査全体図(1:500)

試掘調査

23 中原遺跡群 6

所在地 佐久市大字中込字梨の木3734-55他

開発主体者 株式会社 大東土木

開発事業名 倉庫建設

調査期間 平成7年8月19日

面積 1,234㎡

調査担当者 林 幸彦



中原遺跡群 6 位置図 (1 : 10,000)

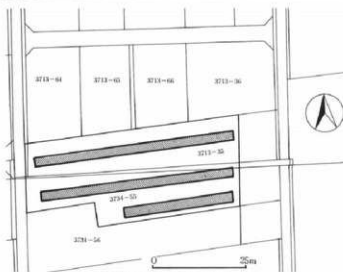
立地と経過

中原遺跡群は、津上製作所信州工場から三河田の集落にかけて展開する。遺跡群の南部は滑津川との比高25mを測る断崖となっている。標高は679-687mを測る。1987・88年に梨の木遺跡から中世の遺構・遺物が検出されている。

今回、株式会社大東土木が倉庫を建設するため試掘調査を実施した。

調査の結果

東西3本のトレンチを入れ精査したが、道路東側の郵便局用地同様、遺構・遺物は検出されなかった。



中原遺跡群 6 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

24 中原遺跡群 7

所在地 佐久市大字中込字梨の木3734-13他

開発主体者 佐久市土地開発公社

開発事業名 郵便局用地建設事業

調査期間 平成7年8月19日・12月8日

面積 1,641.63㎡

調査担当者 林 幸彦・須藤 隆司



中原遺跡群7位置図(1:10,000)

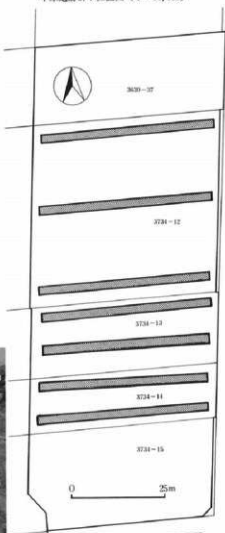
立地と経過

中原遺跡群は、津上製作所信州工場から三河田の集落にかけて展開する。遺跡群の南部は滑津川との比高25mを測る断崖となっている。標高は標高は679~687mを測る。1987・88年に梨の木遺跡から中世の遺構・遺物が検出されている。

今回、郵便局用地の造成が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

東西7本のトレンチを入れ精査したが、遺構・遺物は検出されなかった。



中原遺跡群7調査全体図(1:1,000)

試掘調査

25 西浦遺跡群 1

所在地 佐久市大字野沢字本新町
西浦219-1 他

開発主体者 コンボ通商株式会社

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成7年8月29～31日

面積 7,383㎡

調査担当者 三石 宗一



西浦遺跡群 1 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

本遺跡群は佐久市の南端部、臼田町との境界付近に位置し、標高は684mを測る。この地域は千曲川と片貝川によって帯状の微高地が形成されており、この微高地には中道遺跡、三千束遺跡群、辻遺跡、儘田遺跡、下町屋遺跡など多くの遺跡が存在している。

今回、コンボ通商株式会社によって店舗の建設が計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地内に、8本のトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。調査の結果、調査区中央付近より堅穴住居址5棟、溝状遺構1条等が検出されたが、遺構の検出された箇所は建物部分から外れ、遺構は破壊されないため埋土保存され工事が実施された。



西浦遺跡群 1 A トレンチ (西方から)



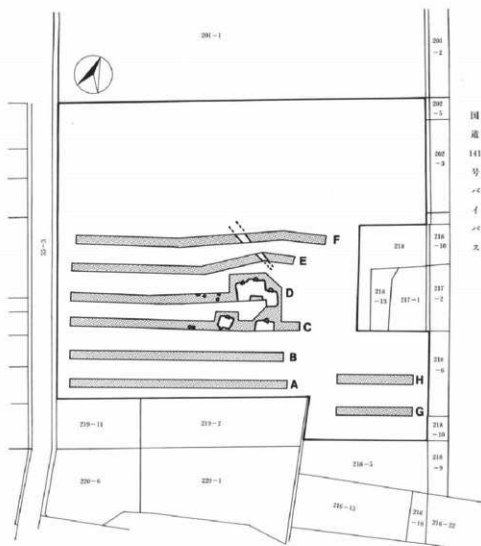
西浦遺跡群 1 C トレンチ (西方から)



西浦遺跡群 1 C トレンチ遺構検出状況 (東方から)



西浦遺跡群 1 D トレンチ遺構検出状況 (西方から)



試掘調査

26 新町遺跡 3

所在地 佐久市大字中込 3-11-6

開発主体者 小林 住男

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成7年9月1日

面積 465㎡

調査担当者 三石 宗一



新町遺跡3位置図 (1:10,000)

立地と経過

新町遺跡は、中込市街地の南側に位置する。千曲川と田子川とに挟まれた微高地上に存在し、標高673mから682mを測る。本遺跡内では、県道中込・小海線の道路改良事業に伴う立会い調査が実施され、土師器・須恵器の小片が出土している。

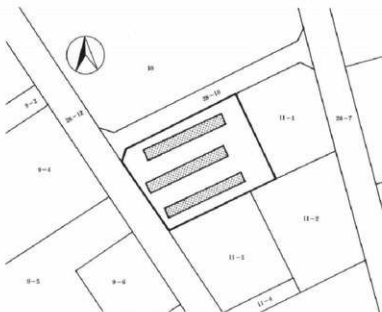
今回、小林住男氏により共同住宅の建設が計画されたため、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。



新町遺跡3調査掘点近景 (西方から)

調査の結果

調査対象地内に東西3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、表土下30~50cmで遺構確認面である砂層が認められたが、遺構・遺物ともに検出されなかった。試掘調査終了後、造成工事が行われた。



新町遺跡3調査全体図 (1:750)

試掘調査

27 金山遺跡 1 (隣接)

所在地 佐久市大字野沢字下北田307-1

開発主体者 合資会社 永ラクビル

開発事業名 貸店舗建設

調査期間 平成7年9月12～19日

面積 5,068cm

調査担当者 富沢 一明



金山遺跡1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

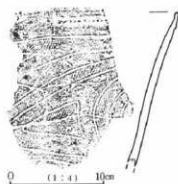
立地と経過

今回調査を行った地点は金山遺跡と野沢館跡の中間地点にあたり、標高は670m前後を測る。周辺部は圃場整備が及ばなかった水田と宅地が散在し、野沢平では数少ない旧来の地形を保っている場所である。今回、合資会社永ラクビルによって貸店舗用地造成が計画され、試掘調査を行う事となった。

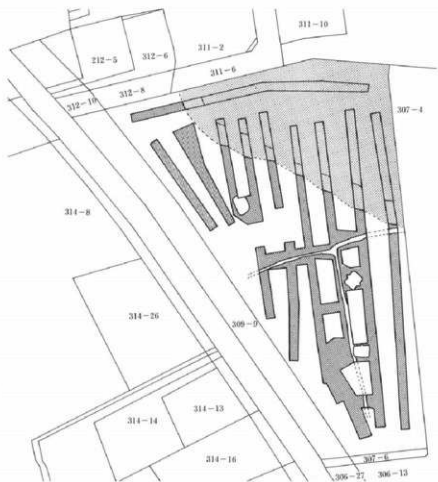
調査の結果

開発対象地に12本のトレンチを設定し調査をおこなった。その結果、調査地北側は深さ1m前後の低地状を呈しており、一部には流水の跡も確認された。この低地からは遺構は確認されなかったものの北端のトレンチより縄文時代後期の深鉢片 (図参照) が検出された。調査区南側は自然微高地を形成しており、竪穴住居址3軒が確認された。これら住居址はいずれも採集された遺物より古墳時代後期から平安時代の所産と考えられる。また、微高地を区画するような「T」字状の溝状遺構が確認された。

調査の結果を受け保護協議が行われ、現状での盛り土を行い、尚かつ建物位置を設計変更していただくこととなり、トレンチの埋め戻しを行った。



金山遺跡出土遺物



金山道路1（隣接）調査全体図（1：1,000）



調査風景

試掘調査

28 上の平遺跡群 1

所在地 佐久市大字鳴瀬字寺中1057-1他
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成7年9月13日
面積 460㎡
調査担当者 上原 学



上の平遺跡群 1 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

上の平遺跡は佐久市大字鳴瀬字寺中に所在し、北側には湯川、南側には千曲川が、東西方向に蛇行しながら流れる。遺跡は、この湯川、千曲川間のやや湯川よりの台地上に位置する。標高は649mをはかる。

今回、佐久建設事務所による道路改良工事が行われることとなり事前に遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

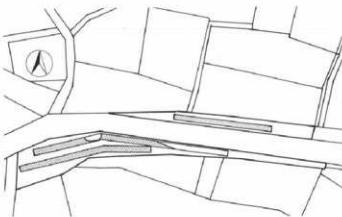


調査区近景 (東から)

調査の結果

現在使用されている道路をまたぎ、幅1.3mのトレンチを東西方向に3本設定し遺構の確認を行った。その結果、道路南側の第1トレンチにおいて住居跡1棟、道路北側の第3トレンチにおいて、溝らしき黒色帯を確認した。

遺物は住居跡上面から須恵器、土師器片を出土した。



上の平遺跡群 1 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

29 西赤座遺跡 9 (隣接)

所在地 佐久市大字岩村田字142-1他
開発主体者 株式会社 オートアールズ
開発事業名 店舗建設
調査期間 平成7年9月19日
面積 4,121.16㎡
調査担当者 羽毛田卓也

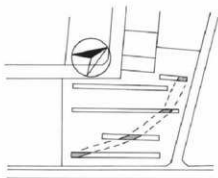


立地と経過

西赤座遺跡は、南北にのびる帯状低地に挟まれた敷高地上に展開する弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡西側の果道を挟んだ隣接地で標高737mに位置する。今回株式会社オートアールズが店舗建設をすることとなったため試掘調査を実施した。

調査の結果

5本のトレンチを掘削した結果、遺構遺物とも検出されなかった。現状は埋め立て地で確認面である黄褐色ローム層まで30から70cmの厚みであった。また調査地北端から南に向けて旧小川が検出された。



西赤座遺跡9 (隣接) トレンチ設定図



トレンチ掘削状況 (北東より) 試掘調査

試掘調査

30 蛇塚古墳

所在地 佐久市大字安原字蛇塚1,567-1他

開発主体者 佐久市開発公社

開発事業名 住宅造成

調査期間 平成7年9月27・28日

面積 500㎡

調査担当者 富沢 一明



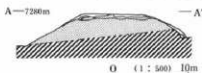
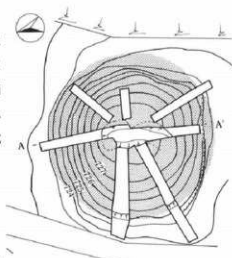
蛇塚古墳位置図 (1:10,000)

立地と経過

蛇塚古墳は湯川の東、標高727mの段丘突端に位置する。周辺部は平成6年度に調査が行われ、7世紀前半の堅穴住居址1軒と7世紀末～8世紀初頭の終末期古墳が調査されている。今回、佐久市土地開発公社による宅地造成の為、古墳規模や残存状況把握の為、試掘調査が行われた。

調査の結果

墳丘部分に6本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、墳頂中央部には後世の盛り土と考えられる地層が30～40cmの厚さで確認された。また周溝等は確認されなかった。以上の事から当古墳は直径約22m・高さ4～4.5mで、主体部(石室)は主軸をやや東にふった南側開口と推定できた。築造時期は不明であるが、調査時に図示した須恵器甕・ハソウが採集された。



蛇塚古墳調査全体図



蛇塚古墳採集遺物



試掘調査

31 潰石遺跡 2

所在地 佐久市大字上平尾字潰石559-7 他

開発主体者 柳澤 妻子

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成7年10月9日

面積 1,288㎡

調査担当者 富沢 一明



潰石遺跡 2 位置図 (1:10,000)

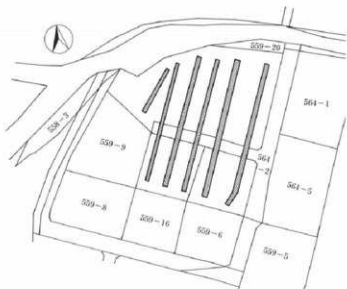
立地と経過

潰石遺跡は湯川を見下ろす河岸段丘上であり、標高は700m前後を測る。付近には古墳時代前期の資料が確認された腰巻遺跡や湯川対岸には栗毛坂遺跡などが所在する。今回、株式会社河東建設により、遺跡内にアパートを建設する事となり、試掘調査を行った。

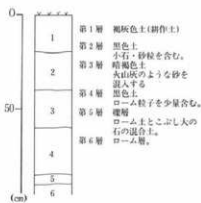


調査の結果

対象地に6本のトレンチを設定し調査を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



潰石遺跡 2 調査全体図 (1:1,000)



潰石遺跡 2 土層柱状図

試掘調査

32 一本柳遺跡群 7

所在地 佐久市大字岩村田字宮の前1995-1他

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年10月9日

面積 1,679㎡

調査担当者 羽毛田卓也



一本柳遺跡群7位置図(1:10,000)

立地と経過

一本柳遺跡群は、湯川と東西にのびる帯状低地に挟まれた帯状台地に展開する縄文から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡群中央北端の標高695mに位置する。今回、株式会社平和不動産が宅地造成をすることとなったため試掘調査を実施した。

調査の結果

3本のトレンチを掘削した結果、遺構・遺物とも検出されなかった。耕作土は22~33cmの厚みで、湿地部分を除き黄褐色砂質ローム層が検出された。湿地部分では、黒褐色シルト層・褐色シルト層が検出された。



一本柳遺跡群7トレンチ設定図



一本柳遺跡群7トレンチ掘削状況(西より)

試掘調査

33 下町遺跡 1 (隣接)

所在地 佐久市大字大沢字原40-1

開発主体者 株式会社 石井商事

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年10月13日

面積 1,548㎡

調査担当者 三石 宗一



下町遺跡1(隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

本遺跡は佐久市の南端部、白田町との境界付近に位置し、標高は686mを測る。この地域は千曲川と片貝川によって帯状の微高地が形成されており、この微高地上には中道遺跡、三千束遺跡群、辻遺跡、儘田遺跡、西浦遺跡群などの遺跡が存在している。

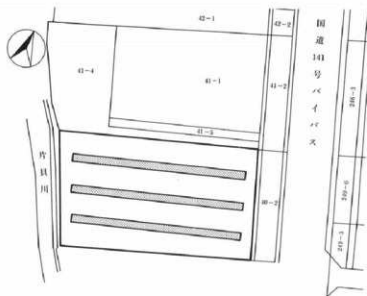
今回、株式会社石井商事によって宅地造成が計画されたため、試掘調査を実施した。



下町屋遺跡1(隣接)調査地点近景(東方から)

調査の結果

調査対象地内に、東西3本のトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。調査の結果、遺構・遺物ともに確認されなかったため試掘調査終了後、造成工事が行われた。



下町屋遺跡1(隣接)調査全体図(1:1,000)

試掘調査

34 中久保田遺跡 2

所在地 佐久市大字岩村田北1丁目20-1

開発主体者 渡辺 吉定

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成7年10月13日

面積 632㎡

調査担当者 上原 学

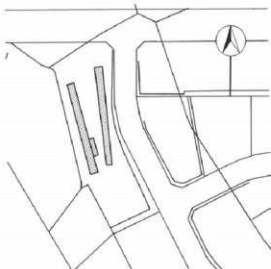


中久保田遺跡2位置図 (1:10,000)

立地と経過

中久保田遺跡は佐久市岩村田に所在し、標高730m付近を測る。このあたりは、上信越自動車道開業により、急速に開発が進んでいる地域で、これらの開発事業に先立ち、多くの発掘調査が行われている。

今回、渡辺吉定氏によるマンション建設工事が行われることとなり、試掘調査を行った。



中久保田遺跡2調査全体図 (1:1,000)

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査区内は、周辺の区画整理によって以前の耕作面から1.7m内外埋土され、整地されていることが確認できた。また、遺構検出面までは現地表から3m以上深いことも確認され、ここからは遺構・遺物ともに認められなかった。



調査区風景 (南から)

試掘調査

35 枇杷坂遺跡群 7

所在地 佐久市大字岩村田字北1丁目32-4
開発主体者 株式会社 高仲コーポレーション
開発事業名 ビジネスホテル建設
調査期間 平成7年10月25日
面積 940.08㎡
調査担当者 上原 学



枇杷坂遺跡群7位置図(1:10,000)

立地と経過

枇杷坂遺跡群は佐久市大字北1丁目に所在し、東西を谷によって切られた南北に細長い田切り地形の台地上に位置する。標高は740mを測る。この周辺は上信越自動車道開通にともない開発が進んでいる地域で、多くの発掘調査が行われている。特に遺跡の東側に位置する長土呂遺跡群聖原遺跡では、これまで大規模な調査が行われ、古墳時代から平安時代にいたる住居跡が1,000棟近く調査されている。

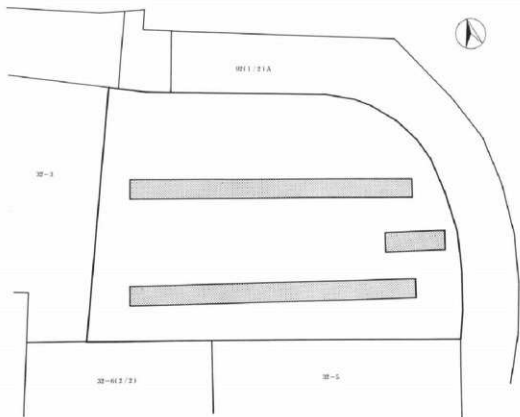
今回、株式会社高仲コーポレーションによるビジネスホテル建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に幅2mのトレンチを3本設定し、遺構の確認を行った。その結果、検出面であるルーム面までの深さは、第1トレンチ130cm、第2トレンチ230cm、第3トレンチ180cmと深く、調査区内は以前の造成によって、削平・埋土されていることが確認できた。このため遺構は第2・第3トレンチ東端において自然流路の痕跡がわずかに認められたほかは、遺構・遺物ともに確認できなかった。



調査区遺景(南から)



枇杷坂遺跡群7調査全体図（1：1,000）



調査区近景（北から）

試掘調査

36 根々井居館跡 2

所在地 佐久市大字根々井
字亀田622-2 他

開発主体者 天神山 正法寺

開発事業名 庫裏新築

調査期間 平成7年10月31日

面積 145.45㎡

調査担当者 森泉かよ子



根々井館跡2位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

岩村田の南西、湯川右岸にあたり標高664mを測る。本遺跡は1965(昭和40年)に長野県の史跡に指定されている。今回、庫裏新築に伴い史跡現状変更許可申請が出され、県文化課の指導の元で試掘調査を行った。遺構は堆積した砂質の褐色土上に構築されている。南東では平成5年宅地造成による試掘根々井館跡1が調査され、遺構はない。弥生時代後期の土器が多量にあった。その東隣では根々井居館敷遺跡1の試掘調査が平成5年なされ、平安時代の堅穴住居址が7棟検出されている。



根々井館跡2出土かわらかけ (1 : 2)

調査の結果

ほぼ長方形の調査区に十字にトレンチを設定し、遺構の検出を試みた。東西トレンチの西側から径70cmの円形範囲に4個の川原石を敷いた状態のピット、方形の土坑、古墳時代の住居址と推測される黒色範囲などあわせて7つ確認できた。調査区中央には検出した遺構より古い河川跡がみられた。

遺物には近世のすり鉢、中世のかわらけ、平安時代の杯、古墳時代の壺、赤色塗彩され



根々井館跡2試掘前風景(東より)



I層 礫作土
II層 褐色土(10YR4/7)
III層 褐色土(10YR4/5)細砂質土・地山

根々井館跡2土層柱状図

た壺片などが出土している。結果については県文化課に報告した。



東西トレンチ遺構群（西より）



東西トレンチ（東より）



石を配してあるピット



南北トレンチ（南より）



根々井館跡2調査全体図（1：500）

試掘調査

37 近津遺跡群 1

開発主体者 信電工株式会社

開発事業名 事務所建設

調査期間 平成7年11月8日

面積 1,020㎡

調査担当者 須藤 隆司



近津遺跡群1位置図 (1:10,000)

立地と経過

近津遺跡群は佐久市長土呂に所在する。調査地点の地形は、台地から田切り谷に至る南東緩斜面であり、標高724m程を測る。近津遺跡群では弥生時代から平安時代までの遺物が採取されており、昭和46年度に調査された北近津遺跡では古墳時代の集落が確認されている。

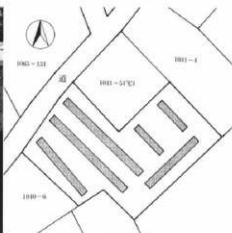
今回、信電工株式会社による事務所建設工事が遺跡群内に計画されたため、事前に試掘調査を行った。

調査の結果

下図のようにトレンチ6本にて遺構・遺物の確認を行った。土層堆積状況は、基本的に地山となる浅間第1軽石流上面まで耕作が及んでいた。確認された遺物は平安時代の須恵器1片のみであり、遺構は確認されなかった。



近津遺跡群1調査地点(南東から)



近津遺跡群1調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

38 岩村田遺跡群13

所在地 佐久市大字岩村田字六供後3609-1

開発主体者 茂木 克弘

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年11月9日

面積 2,636.52㎡

調査担当者 三石 宗一



岩村田遺跡群13位置図 (1:10,000)

立地と経過

本遺跡群は岩村田市街地北半から仙稜湖東方まで広がる大遺跡群で、湯川を臨む東端部には県指定史跡である大井城跡（石並城跡・王城跡・黒岩城跡）が存在する。本遺跡の東側に近接する六供後遺跡では、昭和55年度に発掘調査が行われ、幅1.8～2.2m、深さ1.8～1.3mを測る六供後遺跡M1号（大井城跡1号堀址）が調査されている。

今回、茂木克弘氏により宅地造成が計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

調査対象地内に東西4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。なお、調査区南側の駐車場部分については、昭和61年度に発掘調査が行われ、幅4.6m、深さ1.6mの東西に走る堀址（大井城跡2号堀址）が調査されている。



岩村田遺跡群13調査地点近景（東方から）



岩村田遺跡群13調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

39 跡坂遺跡群 3

所在地 佐久市大字横根字北海老755

開発主体者 株式会社 高木酒店

開発事業名 倉庫及び駐車場建設

調査期間 平成7年11月9日

面積 1,305㎡

調査担当者 須藤 隆司



跡坂遺跡群 3 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

跡坂遺跡群は佐久市横根に所在する。調査地点の地形は、田切り谷に接した台地縁辺部であり、標高748m程を測る。跡坂遺跡群では弥生時代から平安時代までの遺物が採取されている。

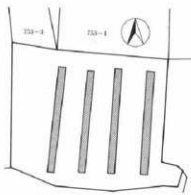
今回、株式会社高木酒店による倉庫及び駐車場建設工事が遺跡群内に計画されたため、事前に試掘調査を行った。

調査の結果

下図のようにトレンチ4本にて遺構・遺物の確認を行った。基本的な土層堆積状況は、耕作土20cm、黒褐色土20cm、暗褐色土10cm、浅間第1軽石流であり、浅間第1軽石流上面を遺構確認面とした。結果は、遺構・遺物ともに確認されなかった。



跡坂遺跡群 3 調査地点 (南から)



跡坂遺跡群 3 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

40 常田居屋敷遺跡群 5

所在地 佐久市大字塚原字屋敷464-2

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 道路建設

調査期間 平成7年11月13・14日

面積 900㎡

調査担当者 林 幸彦



常田居屋敷遺跡群5位置図（1：10,000）

立地と経過

常田居屋敷遺跡群は、佐久市の西北部に位置し、弥生時代から平安時代にかけての集落が検出されている。また、群内には家地頭古墳群や大豆古墳群が存在する。

今回、佐久市新幹線高速道課により北陸新幹線測測道建設が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

対象地の県道よりから中世～近世と思われる水田址の畦畔が2カ所検出された。北陸新幹線用地内を長野県埋蔵文化財センターが調査した際に検出された畦畔に連続するものと考えられる。



試掘調査

41 鋳師屋遺跡群 2

所在地 佐久市大字小田井字鋳師屋246-2他

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 道路改良

調査期間 平成7年11月15～17日

面積 2,233.32㎡

調査担当者 林 幸彦



鋳師屋遺跡群 2 位置図 (1:10,000)

立地と経過

鋳師屋遺跡群は、佐久市の北端部に位置し、古墳時代から平安時代にかけての大集落が県営開場整備事業や上信越自動車道建設工事の際に検出されている。

今回、佐久市新幹線高速道課により上信越自動車道測道拡張工事が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

高速道に沿って南北にトレンチを入れ精査したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



調査トレンチ



調査全体図 (1:4,000)

試掘調査

42 白拍子遺跡群 3 (隣接)

所在地	佐久市大字取手町字仲道156-1他
開発主体者	大和ハウス工業株式会社
開発事業名	宅地造成
調査期間	平成7年11月28日
面積	1,456.24㎡
調査担当者	須藤 隆司



白拍子遺跡群 3 (隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

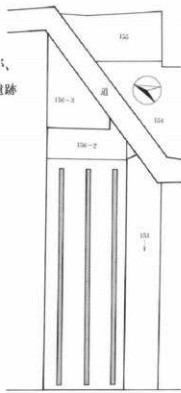
白拍子遺跡群は佐久市取手に所在する。調査地点の地形は、低地であり標高683m程を測る。近津遺跡群では奈良・平安時代の遺物が採取されている。今回、大和ハウス工業株式会社による宅地造成が遺跡群隣接地に計画されたため、遺跡の広がりを確認することを目的として試掘調査を行った。

調査の結果

下図のようにトレンチ3本にて遺構・遺物の確認を行ったが、堆積状況は粘土・砂礫層であり、遺構・遺物は検出されず、遺跡の広がり確認されなかった。



白拍子遺跡 3 (隣接) 群調査地点 (南から)



白拍子遺跡群 3 (隣接) 調査全体図(1:1,000)

試掘調査

43 長土呂遺跡群 3

所在地 佐久市大字長土呂字上聖端151-1 他

開発主体者 神津 ゆきよ

開発事業名 貸駐車場建設

調査期間 平成7年11月29～12月1日

面積 5,082㎡

調査担当者 須藤 隆司



長土呂遺跡群 3 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

長土呂遺跡群は佐久市の北部に位置し、田切り谷に挟まれた南西方向にのびる台地上に位置する。本遺跡群では、聖原遺跡が広範囲に調査されており1,000軒にも及ぶ古墳時代から平安時代の住居址が検出されている。

今回、神津ゆきよ氏による貸駐車場建設が聖原遺跡調査範囲に接した地点に計画されたため、事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

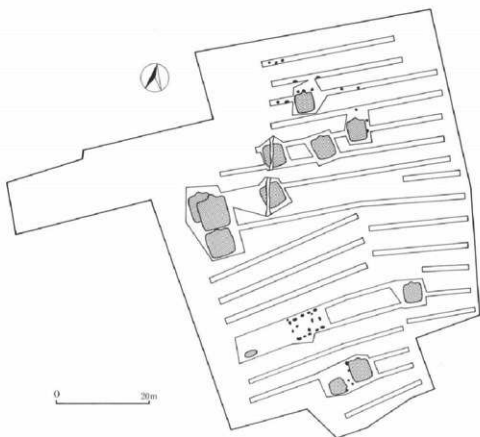
トレンチによる遺構検出調査の結果、奈良・平安時代の住居址11軒、掘立建物址4棟以上、陥し穴1基が確認された。保護協議の結果、検出された遺構は埋土保存され、工事が実施された。



住居址確認状況



住居址確認状況



具土呂遺跡群3調査全体図(1:800)

試掘調査

44 枇杷坂遺跡群 8

所在地 佐久市大字岩村田字枇杷坂1032-2 他

開発主体者 有限会社 田園不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年12月1日

面積 2,870㎡

調査担当者 小林 眞寿

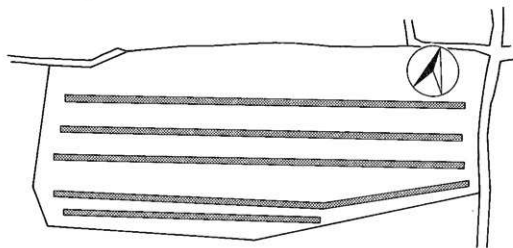


立地と経過

枇杷坂遺跡群は佐久市大字岩村田に所在し、標高720m内外を測る。調査地は、下盤沢遺跡が存在する田切谷を西側に臨む台地端部である。今回有限会社田園不動産による宅地造成が計画されたため事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

開発予定地の地形に沿って東北-南西方向に5本のトレンチを地表下1.1~1.8mに存在する浅間山第1軽石流の堆積層の上面を検出面として掘削した。その結果、縄文時代前期諸儀式の土器片が1片出土しただけであり、遺構は確認されなかった。



枇杷坂遺跡群 8 調査全体図

試掘調査

45 打越遺跡 1

所在地 佐久市大字常和字打越1237-1 他

開発主体者 大蔵不動産株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年12月19日

面積 4,006.36㎡

調査担当者 上原 学



打越遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

遺跡は佐久市大字常和字打越に所在し、西方向に張り出す丘陵の末端部に位置する。

今回、大蔵不動産株式会社による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区は、丘陵の西斜面末端に位置し、急斜面が多い地域であるため、遺構の存在が予想される緩斜面及び平坦地にトレンチを設定した。

トレンチは東西方向2本、南北方向1本入れ遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに認められなかった。



打越遺跡1調査全体図 (1:1,000)



調査区近景 (南から)



調査区遠景

試掘調査

46 東五里田遺跡2（隣接）

所在地 佐久市大字野沢字梨の木339-1 他

開発主体者 佐久市（体育課）

開発事業名 体育館建設

調査期間 平成8年1月17日

面積 4,079㎡

調査担当者 須藤 隆司



東五里田遺跡2（隣接）位置図（1：10,000）

立地と経過

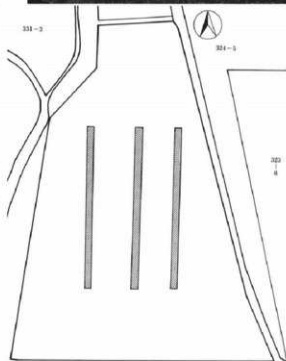
東五里田遺跡は佐久市野沢に所在する。調査地点の地形は、現在水田とされている低地であり、標高672m程を測る。東五里田遺跡では平安時代の遺物が採取されている。

今回、佐久市体育課による体育館建設工事が遺跡隣接地に計画されたため、遺跡の広がりを確認することを目的として試掘調査を行った。



調査の結果

下図のようにトレンチ3本にて遺構・遺物の確認を行ったが、堆積状況は約20cmの水田土以下は砂層であり、遺構・遺物は検出されず、遺跡の広がり確認されなかった。



東五里田遺跡2（隣接）調査全体図（1：1,000）

試掘調査

47 社宮司遺跡 1 (隣接)

所在地 佐久市大字原字社宮司99-6他

開発主体者 株式会社 堀内組

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年1月19日

面積 1,064㎡

調査担当者 羽毛田卓也



社宮司遺跡1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

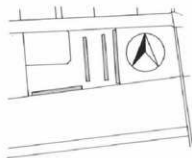
立地と経過

社宮司遺跡は、千曲川の西側に展開する氾濫平原に所在する弥生時代と奈良・平安時代にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡の西端の隣接地標高683mの微高地緩斜面に位置する。今回、株式会社堀内組が宅地造成をすることとなったため試掘調査を実施した。

調査の結果

4本のトレンチを掘削した結果、遺構・遺物ともに検出されなかった。

現状は水田であり、その水田耕作土を42~36cm割ぐと炭化材の最少片を微量含む黒褐色シルト層に達した。このシルト層を精査しながら5~7cm下げると、川砂主体でこぶし大の円礫を含む褐色シルト層に達する。



社宮司遺跡1 (隣接) トレンチ設定図



トレンチ掘削状況 (雨より)

試掘調査

48 洞源遺跡 1

所在地 佐久市大字前山字洞源1367-1

開発主体者 権井 福蔵

開発事業名 残土処理場造成

調査期間 平成8年1月23日

面積 4,914㎡

調査担当者 上原 学



洞源遺跡1位置図(1:10,000)

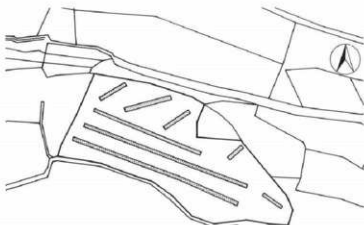
立地と経過

遺跡は佐久市大字前山に所在し、舌状に張り出した尾根の南斜面上に位置する。標高は700～750mを測る。調査区周辺の比較的斜面の緩い台地上では、以前から縄文土器・黒曜石・石器など縄文時代の遺物が表面採取されている。

今回、権井福蔵氏による残土置場造成にともない、試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ4本、東西方向のトレンチ4本を設定し遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



洞源遺跡1調査全体図(1:1,000)



調査区近景(東から)

試掘調査

49 蛇塚B遺跡1

所在地 佐久市大字新子田字野馬久保1906-2地

開発主体者 ミツヤホーム株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年1月29日

面積 640㎡

調査担当者 須藤 隆司



蛇塚B遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

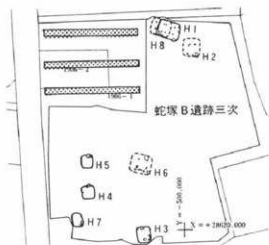
蛇塚B遺跡は湯川右岸の標高715mを測る台地上に立地する。本遺跡では3回の発掘調査が行われており、平安時代住居址29軒が検出されている。

今回、ミツヤホーム株式会社による宅地造成が第三次調査区の隣接地に計画されたため、遺跡の広がりを確認することを目的として試掘調査を行った。



調査の結果

下図のようにトレンチ3本にて遺構・遺物の確認を行ったが、遺構・遺物は検出されず、遺跡の広がり確認されなかった。



蛇塚B遺跡1調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

50 辻遺跡 4 (隣接)

所在地 佐久市大字野沢字辻601-1他

開発主体者 株式会社 泉鉄工

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年1月30日

面積 2,982㎡

調査担当者 上原 学



辻遺跡 4 (隣接) 位置図 (1:10,000)

立地と経過

辻遺跡は佐久市大字野沢字辻に所在し千曲川の左岸に広がる台地上に位置する。遺跡の東側は国道141バイパスが南北方向に通過している。また平成6年度には辻遺跡の北200mに所在する三塚遺跡(2,000㎡)の調査が行われ古墳時代から平安時代にいたる住居跡が30棟以上調査されている。

調査地区は、辻遺跡の西側に隣接する地域で、すでに圃場整備が行われている地域である。

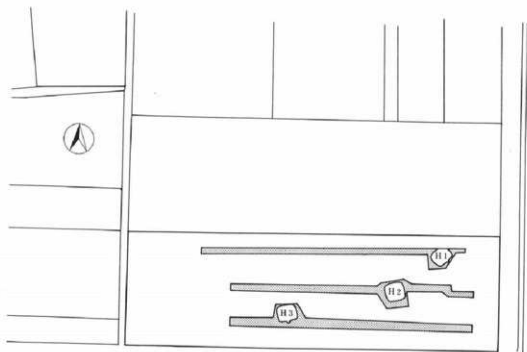
今回、株式会社泉鉄工による宅地造成事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

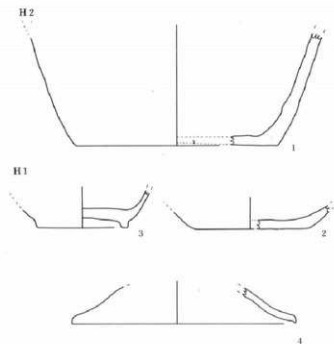
調査区に東西方向のトレンチ3本を設定し遺構の確認を行った。その結果、圃場整備によって調査区の東側3分の1は地山の一部が削平されていることが確認でき、遺構は認められなかった。しかし、調査区の中央付近から西側にかけて地山の移動は認められず、平安時代の住居跡3棟を検出した。このため開発原因者と協議を行い住居跡3棟については埋土保存する運びとなり、遺構の全体像を把握するためトレンチの拡張作業を行った。



上から目1・2・3号住居跡



辻遺跡4 (溝桜) 調査全体図 (1 : 1,000)



1・3号住居跡出土遺物実測図 (1 : 3)



トレンチ掘り下げ状況

試掘調査

51 栗毛坂遺跡群16

所在地 佐久市大字岩村田字東芝間3873-1他

開発主体者 サカイ創建株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年2月6～14日

面積 6,728㎡

調査担当者 小林 眞寿



栗毛坂遺跡群16位置図 (1:10,000)

立地と経過

栗毛坂遺跡群は佐久市大字岩村田に所在し、標高730m内外を測る。調査地は、北東を田切谷により隔絶され、東に湯川を臨む台地である。今回サカイ創建株式会社による宅地造成が計画されたため事前に試掘調査を実施した。

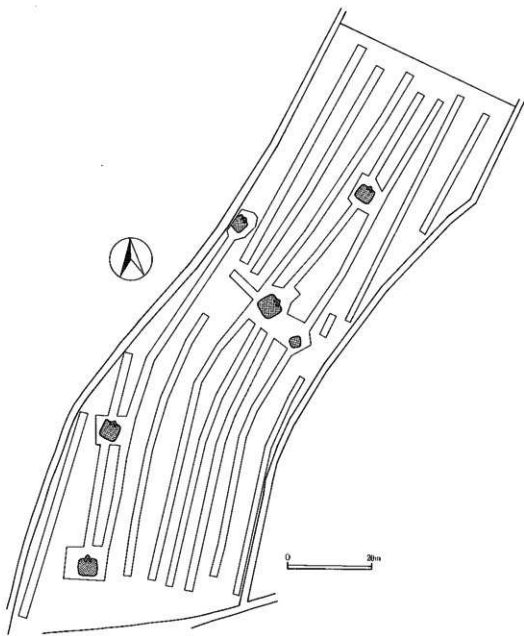
調査の結果

開発予定地の地形に沿って北東-南西方向に10本のトレンチを地表下0.3～1.5mに存在する浅間山第1軽石流の2次堆積層の上面を検出面として掘削した。その結果、平安時代の住居址を6軒検出した。また、検出面がリンゴの栽培、抜根による攪乱を著しく受けていたため把握を断念した掘立柱建物址を構成するものと思われるpitもいくつか存在した。

遺構が開発予定地のほぼ全面に展開することからも全面調査の必要があるものと思われる。



検出された住居址



栗毛板遺跡群16調査全体図

試掘調査

52 中久保田遺跡 3

所在地 佐久市大字岩村田中久保田190-1 地

開発主体者 サカイ創建株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年2月15～19日

面積 5,865㎡

調査担当者 小林 眞寿

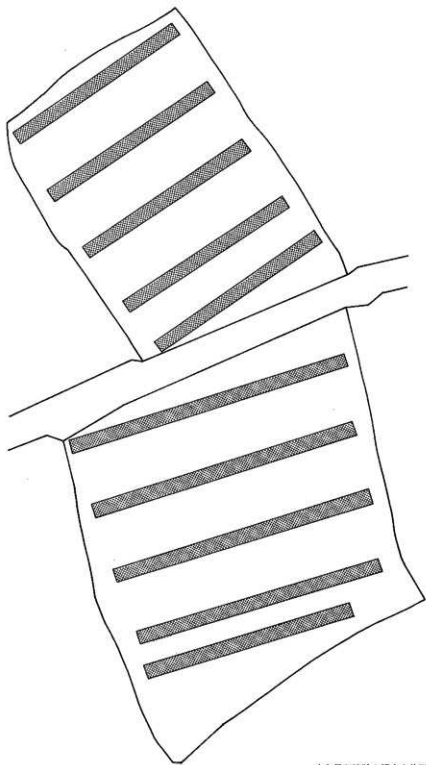
立地と経過

中久保田遺跡は佐久市大字岩村田に所在し、標高730m内外を測る。調査地は、北東-南西方向の小さな田切谷の内部で、両脇が微高地となっている。今回サカイ創建による宅地造成が計画されたため事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

開発予定地の地形に沿って北西-南東方向に10本のトレンチを地表下0.8～2.5mに存在する浅間山第1軽石流の堆積層の上面を検出面として掘削した。その結果、旧田切地形が検出されただけであり、遺構・遺物ともに確認されなかった。





中久保田遺跡3調査全体図

試掘調査

53 中原遺跡群 8

所在地 佐久市大字中込3734-26他

開発主体者 小林 章則

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成8年2月20日

面積 1,220.42㎡

調査担当者 羽毛田卓也



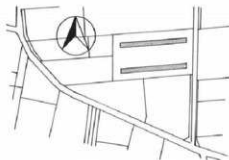
中原遺跡群 8 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

中原遺跡群は、滑津川の段丘北側に展開する縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡群南端標高683mに位置する。今回小林章則がマンション建設をすることとなったため試掘調査を実施した。

調査の結果

2本のトレンチを東西方向に掘削した結果、遺構遺物ともに検出されなかった。現状は畑地で確認面である黄褐色ローム層まで20~30cmの厚みであった。また表土直下に3~6cmの厚みで黒色土が確認された。



中原遺跡群 8 トレンチ設定図



トレンチ掘削状況 (東より)

試掘調査

54 枇杷坂遺跡群 9

所在地 佐久市大字岩村田字下久保田向264-1

開発主体者 井出 雅男

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年3月7日

面積 1,352.21㎡

調査担当者 須藤 隆司



枇杷坂遺跡群 9 位置図 (1:10,000)

立地と経過

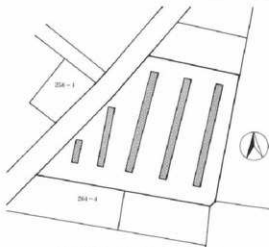
枇杷坂遺跡群は佐久市岩村田に所在し、田切り谷に挟まれた南西方向に延びる台地上に立地する。本遺跡群では弥生時代から平安時代にかけての遺物が採取されている。

今回、井出雅男氏による宅地造成が遺跡群内に計画されたため、事前に試掘調査を行った。



調査の結果

右図のようにトレンチ5本にて遺構・遺の確認を行った。基本土層は地山となる浅間第1軽石流に至るまでに1m50cm程の砂礫層・粘土層の堆積がみられた。このことから、調査地点は台地中央部に存在する小田切り状地形内に位置していたと考えられる。遺構・遺物は確認されなかった。



跡坂遺跡群 9 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

55 藤塚遺跡 1

所在地 佐久市大字常田字吾津多利597-1他

開発主体者 与志本林業株式会社

開発事業名 資材置場建設

調査期間 平成8年3月8日

面積 1,200㎡

調査担当者 上原 学



藤塚遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

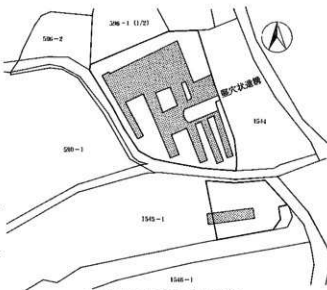
藤塚遺跡は、佐久市大字藤塚に所在し佐久市と浅科村との境付近に位置する。標高は672m付近を測る。

藤塚遺跡では、平成3・4年に与志本林業株式会社による工場建設工事に伴い発掘調査が行われ、古墳及び古墳時代前期の住居跡などが調査されている。また本調査区は、以前調査された東側に隣接する地域で、小高い墳丘状を示していることから、古墳であろうと考えられている地域である。

今回、与志本林業株式会社による資材置き場造成に伴い、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ5本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、堅穴状遺構1を検出した。遺物は認められなかった。また、古墳とされる斜面頂上付近のトレンチを拡張し、古墳であるかの確認調査を行ったが、調査の結果、この小高い丘はこの付近特有の流山であることが判明した。



藤塚遺跡1調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

56 前田遺跡群姫子石遺跡

所在地 佐久市大字塚原字姫子石1517-2他

開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）

開発事業名 道路建設

調査期間 平成8年3月25・26日

面積 3,377㎡

調査担当者 富沢 一明



前田遺跡群姫子石遺跡位置図（1：10,000）

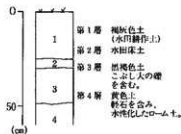
立地と経過

前田遺跡群は佐久市塚原に所在する。塚原地籍は浅間山の噴火による「塚原泥流」に覆われ、山体の崩壊物質と噴出物で形成された「流れ山」が数多く見られる地域である。周辺には古墳時代前期の墳墓が発見された藤塚古墳群、同じく集落址が検出された藤塚遺跡・常田居屋敷遺跡などが所在し、佐久平では稀な時期の遺跡発見が相次いでいる。今回、市道建設にあたり当遺跡の試掘をする事となった。

調査の結果

対象地に計3本のトレンチを設定し調査を行った。

その結果、低地では遺構・遺物ともに確認されなかったが、畑地部分で土坑が検出され協議の結果発掘調査をする事となった。



姫子石遺跡土層柱状図



姫子石遺跡調査全体図（1：1,000）

立会い調査

57 久彌添遺跡 1 (隣接)

所在地 佐久市大字平賀字向田1474-1

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成7年4月19日

面積 6,438.12㎡

調査担当者 三石 宗一



久彌添遺跡1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

立地と経過

久彌添遺跡は、佐久市の南端、臼田町との境界付近に位置する。この地域は千曲川と田子川とに挟まれた微高地が形成されており、この微高地上に久彌添遺跡、新町遺跡等が存在している。標高は686m内外を測る。

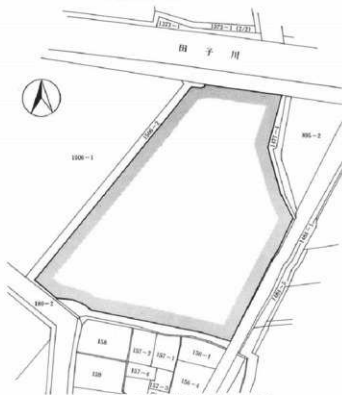
今回、株式会社平和不動産により宅地造成が計画されたため立会い調査を実施した。



久彌添遺跡1 (隣接) 調査視点近景 (南方から)

調査の結果

造成工事の際に立会ったが、今回の調査対象地内では0.4～1mの埋土が行われており、埋土下で黄褐色の砂層が認められたものの、遺構・遺物ともに確認されなかった。



久彌添遺跡1 (隣接) 調査全体図 (1:1,500)

立会い調査

58 中原遺跡群 9

所在地 佐久市大字中込字大沢上3568-105

開発主体者 積水ハウス株式会社

開発事業名 住宅造成

調査期間 平成7年5月25日

面積 506㎡

調査担当者 小林 眞寿



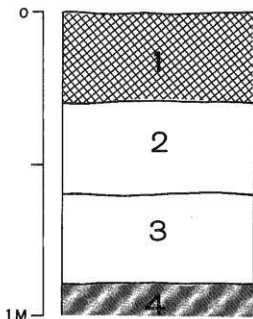
中原遺跡群9位置図 (1:10,000)

立地と経過

中原遺跡群は佐久市大字中込に所在し、標高680m内外を測る。調査地は、滑津川の河岸段丘上に位置する、遺跡群の東南端部である。今回積水ハウス株式会社による宅地造成が計画されたため立会い調査を実施した。

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



- 1-表土。10Y R5/3
- 2-にぶい黄褐色土層 (10Y R5/3)。10Y R8/3砂質ロームを少含。
- 3-にぶい黄褐色土層 (10Y R5/4)。10Y R8/3砂質ロームを多含。
- 4-にぶい黄褐色土層 (10Y R7/2)。砂の推積層。

中原遺跡群9基本層序

立会い調査

59 栗毛坂遺跡群17

所在地 佐久市大字岩村田字上曾根39-1

開発主体者 株式会社木下組

開発事業名 店舗用地造成

調査期間 平成7年6月16日

面積 1,834.29㎡

調査担当者 林 幸彦



栗毛坂遺跡群17位置図 (1:10,000)

立地と経過

本調査地点は、栗毛坂遺跡群の北西端にあり、浅間第一軽石流に覆われた「田切り地形」の台地上にのっている。本調査地点の西側に隣接する栗毛坂遺跡群上曾根遺跡1の試掘調査の際には、遺構・遺物とも検出されなかったが、さらにその西隣の西曾根遺跡は、1989年に雇用促進住宅建設に伴い発掘調査され、8世紀前半の堅穴住居址2軒、掘立柱建物址17棟等が検出されている。今回、株式会社木下組が店舗用地を造成することとなり立会い調査を行った。

調査の結果

基礎部分の掘削時に立ち会った。全カ所で旧河川跡がみられた。糸切り底部をみせる土師器杯1片が出土した。遺構の検出はなかった。



栗毛坂遺跡群17調査全体 (1:1,000)

立会い調査

60 芝宮遺跡群 9

所在地 佐久市大字長土呂字上高山848-2

開発主体者 株式会社 守谷商会

開発事業名 事務所建設

調査期間 平成7年10月17・18日

面積 165㎡

調査担当者 林 幸彦



芝宮遺跡群9位置図(1:10,000)

立地と経過

芝宮遺跡群は、佐久市の北部に位置し、古墳時代から平安時代にかけての集落が検出されている。本遺跡群は浅間第一軽石流の堆積と浸食で形成された「田切り地形」の台地上に展開している。工場団地造成・国道141号バイパス工事に伴い、下芝宮遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、上高山遺跡Ⅰ・Ⅱ、南下中原遺跡Ⅰ・Ⅱ、下曾根遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ等が発掘調査されている。

今回、株式会社守谷商会が事務所建築をすることになったため立会い調査を実施した。

調査の結果

東西南北の基礎工事部分の深掘時に立ち会ったが、遺構・遺物は検出されなかった。



芝宮遺跡群9調査全体図(1:1,000)

立会い調査

61 西大久保遺跡群 3

所在地 佐久市大字上平尾664-5他

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成7年10月31日

面積 469㎡

調査担当者 羽毛田卓也



西大久保遺跡群3位置図(1:10,000)

立地と経過

西大久保遺跡群は、湯川と南北にのびる田切低地に挟まれた帯状台地に展開する縄文から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡群西端の標高730mに位置する。今回佐久建設事務所が道路拡幅工事をする事となったため試掘調査を実施した。

調査の結果

道路拡幅部分に2本のトレンチを掘削した。耕作土32~41cm下より黄褐色ローム層・黄褐色砂質ローム層が検出され、精査した結果、遺構・遺物ともに検出されなかった。



西大久保遺跡群3トレンチ掘削状況(東より)

立会い調査

62 東大久保遺跡群 1

所在地 佐久市大字上平尾字塚畑7907-4 他

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成7年10月31日

面積 897㎡

調査担当者 羽田卓也



東大久保遺跡群1位置図(1:10,000)

立地と経過

東大久保遺跡群は、湯川と南北にのびる田切低地に挟まれた帯状台地に展開する縄文から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の試掘調査地点は遺跡群の中央やや北よりの標高740mに位置する。今回佐久建設事務所が道路拡幅工事をする事となったため試掘調査を実施した。

調査の結果

現場ではすでに工事が始まっており、部分的な確認しかできなかった。耕作土30~34cm下より炭化材数小片と赤褐色焦土を含む黒色土が道路際で検出された。黒色土は0~46cmの厚みである。全体地形は南東に傾斜しているが、黒色土を取り去るとそれは逆に傾斜する。つまり現道の下に堀あるいは大溝が存在する可能性がある。また調査地北端では南南東方向に走る堀・大溝の縁が確認された。黒色土を精査したが遺物は検出されなかった。



東大久保遺跡群1トレンチ掘削状況(南より)



東大久保遺跡群1トレンチ掘削状況(南より)

立会い調査

63 本郷上北側遺跡 1 (隣接)

所在地 佐久市大字志賀字上宿3614-2 他

開発主体者 城源山 雲興寺

開発事業名 墓地造成

調査期間 平成7年11月2日

面積 1,120㎡

調査担当者 上原 学



本郷上北側遺跡 1 (隣接) 位置図 (1:10,000)

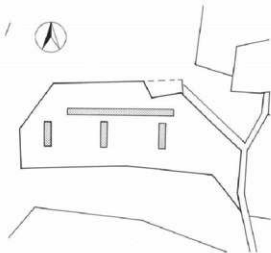
立地と経過

本郷上北側遺跡は、佐久市大字志賀に所在し、標高750m付近を測る。遺跡の北側は丘陵地帯となり、山頂付近は志賀城跡が所在する。

今回、城源山雲興寺住職による墓地造成工事が行われることとなり立ち会い調査を行った。

調査の結果

調査区のトレンチを東西方向に1本、南北方向に3本入れ遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。



本郷上北側遺跡 1 (隣接) 調査全体図 (1:1,000)



調査区近景 (南から)



調査区近景 (北から)

立会い調査

64 番屋前遺跡群 9

所在地 佐久市大字中込字東妻神3183-3

開発主体者 浦野 久江

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成7年11月13日

面積 663.35㎡

調査担当者 上原 学



番屋前遺跡群9位置図(1:10,000)

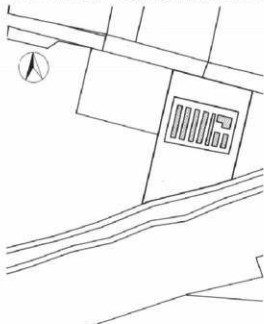
立地と経過

番屋前遺跡群は佐久市大字中込に所在し、湯川の左岸の段丘面上に位置する。標高は694m付近をはかる。調査区は遺跡群のほぼ中央にあたり、比較的平坦な地形を見せている。

今回、住宅建設工事が行われることとなり遺構の有無を確認するため立ち会い調査を行った。

調査の結果

調査は、遺構の破壊が予想される住宅基礎部分について、トレンチを設定し遺構の確認を行った。その結果遺構・遺物ともに確認されなかった。



番屋前遺跡群9調査全体図(1:1,000)



調査区近景(北から)

立会い調査

65 岩井堂遺跡 2

所在地 佐久市大字岩村田字岩井堂2569-1
開発主体者 サカイ創建株式会社
開発事業名 住宅造成
調査期間 平成8年1月16日
面積 3,307㎡
調査担当者 上原 学



岩井堂遺跡 2 位置図 (1 : 10,000)

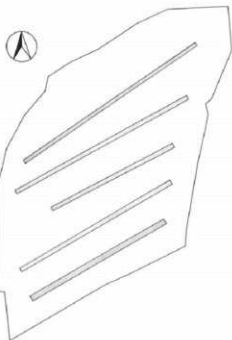
立地と経過

岩井堂遺跡は佐久市大字岩村田字岩井堂に所在し、湯川によって形成された右岸の第1段丘面上に位置する。標高は683mをはかり、ほぼ平坦な地形である。

今回、サカイ創建株式会社による宅地造成事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため立会い調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを5本設定し、遺構の確認を行った。その結果遺構・遺物ともに認められなかった。



岩井堂遺跡 2 調査全体図 (1 : 1,000)



立会い調査

66 中久保田遺跡 4

所在地 佐久市大字岩村田北1丁目17-5 他

開発主体者 株式会社町田一級建築士事務所

開発事業名 住宅造成

調査期間 平成8年2月16日

面積 1,328.5㎡

調査担当者 上原 学



中久保田遺跡4位置図 (1:10,000)

立地と経過

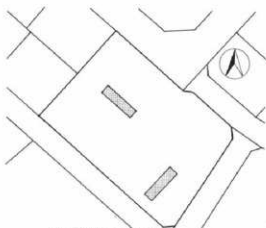
中久保田遺跡は佐久市大字岩村田に所在する。付近は火山山麓特有の田切り地形が南北方向に発達しており、遺跡はこの田切り地形の台地上に位置する。標高は732mを測る。また平成5年には上信越自動車道佐久インターチェンジが開業となり、アクセス道一带は多くの開発が進んでいる。

今回、株式会社町田一級建築士事務所による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため立ち会い調査を行った。

調査の結果

遺構の破壊が予想される建造物の基礎部分について遺構の確認を行った。その結果、以前行われた区画整理によって、3mの埋土がなされていることが認められた。

遺構・遺物は確認できなかった。



中久保田遺跡4調査全体図 (1:1,000)



調査区遠景 (南東から)

立会い調査 67 竹原遺跡 1

所在地 佐久市大字平賀字竹原4790-3

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改良

調査期間 平成8年2月16日

面積 54㎡

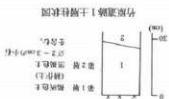
調査担当者 宮沢一明

立地と経過

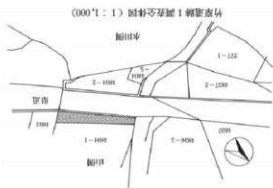
竹原遺跡は佐久市の南東平賀地籍に所在し、周辺には八十戸戸遺跡・平賀城跡などがある。今回、佐久建設事務所により道路改良工事で歩道を設置する事となり、事前協議の結果、削平深度が浅い為、遺跡内であるが立ち会い調査として実施する事となった。

調査の結果

歩道設置部分を精査したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



竹原遺跡1調査風景



竹原遺跡1位置図 (1:10,000)



立会い調査

68 常田居屋敷遺跡群 6

所在地 佐久市大字塚原426-1
開発主体者 佐久市（新幹線高速道課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成8年3月21日
面積 1,971㎡
調査担当者 林 幸彦



常田居屋敷遺跡群6位置図(1:10,000)

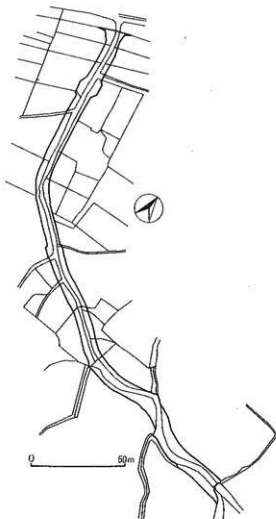
立地と経過

常田居屋敷遺跡群は、佐久市の北西部に位置し、弥生時代から平安時代にかけての集落が検出されている。また、群内には家地頭古墳群や大豆古墳群が存在する。

今回、佐久市新幹線高速道課により市道丸山線（8-14号線）が計画されたため立会い調査を実施した。

調査の結果

大部分が盛り土であったため詳細は不明であった。



常田居屋敷遺跡群6調査範囲(1:2,000)

1995年度（平成7年度）市内遺跡発掘調査一覧表

1995年度(平成7年度)市内遺跡発掘調査一覽表

No.	遺跡名	開発主体	所在地	開発事業名	発掘面積(㎡)	保存措置	調査期間	担当者
1	遺跡発掘1	鶴岡日本病院	築港	宅地造成	807.00	試掘	4.3	上原
2	石久保遺跡群14	市病勢総合医療課	岩村田	道路改良	61.80	試掘	4.26	林
3	鎮守遺跡2	医療法人 恵仁会	築港	老人保健施設建設	3,105.00	試掘	5.2	林
4	辻高跡3(再発)	神キニュー	野沢	店舗建設	2,746.00	試掘	5.11-15・18	林
5	武井遺跡群3	上原正徳	岩村田	共同住宅建設	1,007.25	試掘	5.16	林
6	寺津遺跡群6	岡上原商店	敷4井	宅地造成	1,351.84	試掘	5.19	上原
7	大久保遺跡1(再発)	佐久建設事務所	大沢	道路改良	3,141.60	試掘	5.22, 2.16	三石
8	藤名平遺跡群	市役所計画課	根津	公園造成	12,000.00	試掘	6.8・9	高村
9	藤波遺跡群2	時ツツミ地研	根津	宅地造成	1,305.82	試掘	6.12	林
10	東海遺跡1(再発)	鶴山田屋	高柳	宅地造成	2,994.26	試掘	6.14	羽毛田
11	高柳町遺跡群11	佐久市農業協同組合	新子市	多目的ホール及び母体センター建設	9,097.30	試掘	6.14-8.31	林
12	茂竹遺跡群4	宇佐田 倉久学園	菅村田	テニスコート・駐車場造成	1,634.00	試掘	6.17・18, 7.14-15	林
13	中野遺跡群仲原遺跡	市土庫	盛久保	道路建設	2,200.00	試掘	6.19-21	上原
14	藤原川原遺跡群	西山建吉	野沢	養老老人ホーム建設	7,116.00	試掘	6.21-26	三石
15	上の城遺跡群6	神フジマート	岩村田	店舗新築	10,145.00	試掘	7.10-17	三石
16	鹿沼遺跡群5	神平和不動産	岩村田	事務所建設	231.00	試掘	7.18	林
17	鹿沼遺跡群6	ツカイ建設	岩村田	宅地造成	1,291.00	試掘	7.19-21	林
18	菅村田遺跡群15	岡ヤシロー地所	菅村田	宅地造成	1,183.03	試掘	7.26, 8.12	林
19	藤名遺跡群15	坂田実	岩村田	宅地造成	1,245.20	試掘	7.26-28, 8.25, 10.5	林
20	大塚遺跡1	神フジマート	岡上	宅地造成	425.00	試掘	8.5-9.1	林
21	石の土遺跡1(再発)	神フジマート	高柳	第一番車庫建設	264.00	試掘	8.6	林
22	石の土遺跡2(再発)	クヌネロード開発	敷4井	宅地造成	1,678.00	試掘	8.8-11, 25	林
23	中津遺跡群6	東大富士大	中込	倉庫新築	2,234.00	試掘	8.10	林
24	中津遺跡群7	株式会社開発公社	中込	雑居ビル地盤改良工事	1,641.63	試掘	8.10, 12.8	林・飯塚
25	西津遺跡群1	コンバシ	本朝町	店舗建設	7,383.00	試掘	8.20-31	三石
26	新町遺跡3	小林倉房	中込	共同住宅建設	405.00	試掘	8.1	高柳
27	金山遺跡1(再発)	合資会社 ヌメノダ	野沢	貸店舗建設	5,068.00	試掘	9.12-19	上原
28	上の平遺跡群1	佐久建設事務所	高柳	道路改良	400.00	試掘	9.13	菅原
29	西原遺跡群(再発)	株式会社アールズ	岩村田	店舗建設	4,121.16	試掘	9.19	羽毛田
30	地蔵古墳	市土地開発公社	安藤	宅地造成	500.00	試掘	9.27・28	菅原
31	流石遺跡2	神澤電子	上平屋	共同住宅建設	1,288.00	試掘	10.9	菅原
32	一本跡遺跡群7	神平和不動産	菅村田	宅地造成	1,075.00	試掘	10.9	羽毛田
33	下原遺跡1(再発)	藤石井商店	大沢	宅地造成	1,548.00	試掘	10.13	上原
34	中久保遺跡2	建設予定	菅村田	共同住宅建設	632.00	試掘	10.13	三石
35	鹿沼遺跡群7	株式会社ドレージン	岩村田	ビジネスホテル建設	940.00	試掘	10.25	上原
36	敷4井遺跡2	大沖田 東広合	敷4井	商業新築	14.45	試掘	10.31	藤原
37	沢津遺跡群1	旭工芸	敷4井	事務所建設	1,020.00	試掘	11.8	藤原
38	菅村田遺跡群13	茂木克弘	菅村田	宅地造成	2,636.52	試掘	11.9	菅原
39	藤波遺跡群3	神馬本興産	根津	倉庫及び駐車場建設	1,305.00	試掘	11.9	藤原
40	宮田遺跡群5	市病勢総合医療課	塚津	道路建設	900.00	試掘	11.13・14	林
41	岡波遺跡群2	市病勢総合医療課	小西平	道路改良	2,233.32	試掘	11.15-17	林
42	白子遺跡群1(再発)	大和ハウス工業	取手	宅地造成	1,456.24	試掘	11.28	林
43	上の平遺跡群3	神田ゆきよ	上平屋	貸店舗建設	5,082.00	試掘	11.29-12.1	菅原
44	鹿沼遺跡群8	前田建設	岩村田	住宅造成	2,870.00	試掘	12.1	小井
45	打越遺跡1	大塚不動産	菅原	住宅造成	4,006.36	試掘	12.19	上原
46	東五郎遺跡1(再発)	市体育課	野沢	体育館建設	4,079.00	試掘	1.17	藤原
47	宮田遺跡群1(再発)	藤原内蔵	堀	宅地造成	1,064.00	試掘	1.19	羽毛田
48	岡波遺跡1	前井建設	鶴山	残土処分造成	4,914.00	試掘	1.23	上原
49	柳原遺跡1	ミツヤホーム	新子市	宅地造成	640.00	試掘	1.29	藤原
50	江崎遺跡(再発)	藤原建設	野沢	宅地造成	2,982.00	試掘	1.30	上原
51	東五郎遺跡群16	ツカイ建設	岩村田	宅地造成	6,728.00	試掘	2.6-14	小井
52	菅村田遺跡群3	ツカイ建設	菅村田	宅地造成	5,865.00	試掘	2.15-19	小井
53	中津遺跡群8	小林倉房	中込	共同住宅建設	1,226.42	試掘	2.29	羽毛田
54	鹿沼遺跡群9	井田隆興	岩村田	宅地造成	1,350.21	試掘	3.7	藤原
55	藤原遺跡1	市志本林業	宮田	資料保管庫建設	1,200.00	試掘	3.8	上原
56	島田遺跡群1(再発)	市病勢総合医療課	塚津	道路建設	3,377.00	試掘	3.25・26	藤原
57	大塚遺跡1(再発)	神平和不動産	野沢	宅地造成	6,436.12	立合	4.19	三石
58	中野遺跡群9	宮本・ウズ橋	中込	宅地造成	550.00	立合	5.25	小井
59	東五郎遺跡群17	藤木工業	新子市	店舗建設	1,834.29	立合	6.18	林
60	芝草遺跡群9	藤原商会	敷4井	商店建設	165.00	立合	10.17・18	林
61	西久保遺跡群3	佐久建設事務所	上平屋	道路改良	469.00	立合	10.31	羽毛田
62	東大久保遺跡群1	佐久建設事務所	上平屋	道路改良	892.00	立合	10.31	羽毛田
63	4号土庫遺跡1(再発)	城野山 聖真寺	志賀	墓地造成	1,200.00	立合	11.2	上原
64	藤原遺跡群5	藤野久良	中込	共同住宅建設	663.35	立合	11.13	上原
65	打井遺跡群2	ツカイ建設	岩村田	宅地造成	3,307.00	立合	1.16	上原
66	中久保遺跡群4	藤原 道平事務所	岩村田	宅地造成	1,328.50	立合	2.16	上原
67	竹原遺跡1	佐久建設事務所	平賀	道路改良	84.00	立合	2.16	藤原
68	宮田遺跡群6	市病勢総合医療課	塚津	道路改良	1,971.00	立合	3.21	林



付圖 1995年度市內道路及測量点位記圖 (1 : 50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- 第1集 【金井城跡】
第2集 【市内遺跡発掘調査報告書1990】
第3集 【石塚家址Ⅲ】
第4集 【大ふけ遺跡】
第5集 【立科F遺跡】
第6集 【上曾根遺跡】
第7集 【三寅畑遺跡】
第8集 【瀧の下遺跡】
第9集 【国道141号線関係遺跡】
第10集 【聖原遺跡Ⅱ】
第11集 【赤塚外遺跡】
第12集 【若宮遺跡Ⅱ】
第13集 【上高山遺跡Ⅱ】
第14集 【栗毛坂遺跡】
第15集 【野馬久保遺跡】
第16集 【石並城跡】
第17集 【市内遺跡発掘調査報告書1991】（1月～3月）
第18集 【西曾根遺跡】
第19集 【上芝宮遺跡】
第20集 【下聖端遺跡Ⅲ】
第21集 【金井城跡Ⅲ】
第22集 【市内遺跡発掘調査報告書1991】
第23集 【南上中原・南下中原遺跡】
第24集 【上聖端遺跡】
第25集 【上久保田Ⅱ】
第26集 【藤塚古墳群・塚塚Ⅱ】
第27集 【上久保田Ⅲ】
第28集 【曾根新城Ⅴ】
第29集 【山法師遺跡B 筒村遺跡B】
第30集 【市内遺跡発掘調査報告書1992】
第31集 【山法師遺跡A 筒村遺跡A】
第32集 【東ノ割】
第33集 【聖原遺跡Ⅶ 下曾根遺跡Ⅰ 南藤部遺跡Ⅰ】
第34集 【西一本柳遺跡Ⅰ】
第35集 【市内遺跡発掘調査報告書1993】
第36集 【蛇塚B遺跡Ⅲ】
第37集 【西一本柳遺跡Ⅱ 中西ノ久保遺跡Ⅰ】
第38集 【南下中原遺跡Ⅱ】
第39集 【中塚遺跡】
第40集 【寺畑遺跡】
第41集 【曾根新城遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
西曾根遺跡Ⅱ・Ⅲ】
第42集 【寄山】
第43集 【権現平遺跡 池端城跡】
第44集 【寺浜遺跡】
第45集 【市内遺跡発掘調査報告書1994】
第46集 【瀨り遺跡】
第47集 【上芝宮遺跡Ⅴ】
第48集 【池端城跡】
第49集 【根々井芝宮遺跡】
第50集 【藤塚遺跡Ⅲ】
第51集 【寺中遺跡・中塚遺跡Ⅱ】
第52集 【坪の内遺跡】
第53集 【円正坊遺跡Ⅱ】

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第54集

市内遺跡発掘調査報告書1995

1997年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒384-01 長野県佐久市大字中込3056

埋蔵文化財課

〒385 長野県佐久市大字志賀5963

TEL (0267) 68-7321

印刷所 株式会社 佐久印刷所

